
オールカラー
100ページ漫画
旅館女将♡新サービス始めました
ガケっぷち女将の隠(イン)巨乳
五人美人


…まだ寝ないの？
カチ
カチ
ゴメン起こしちゃった？
いや…構わない
ふう…
私もそろそろ寝るわ


…ねえ、隆
……そっち行っていい？


キミは疲れているだろ
女将の仕事は毎日忙しいんだから…


……


崖(ガケ)っぷち女将(おかみ)の隠(イン)巨乳


チュン
チュン
チュン
チュン
にゃあ
ニャー
ニャー

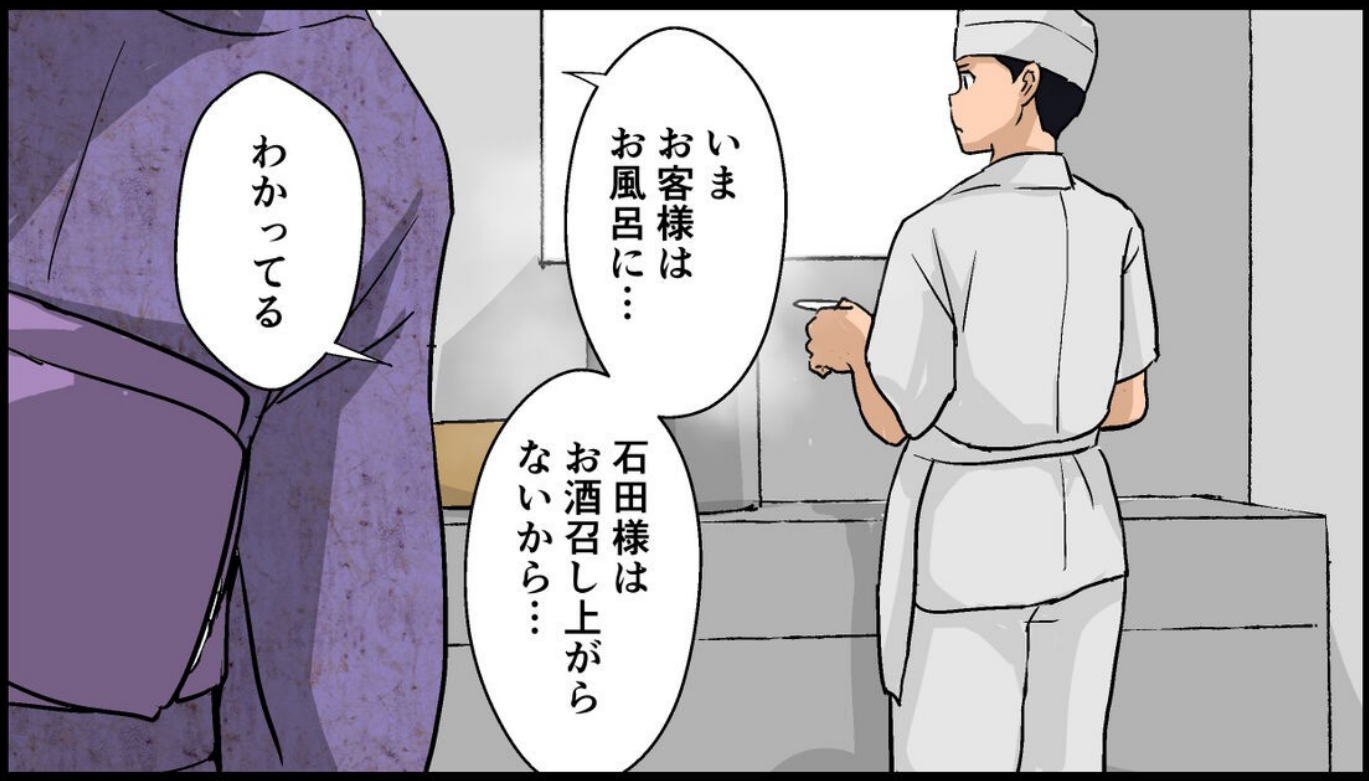

ピィィィ…

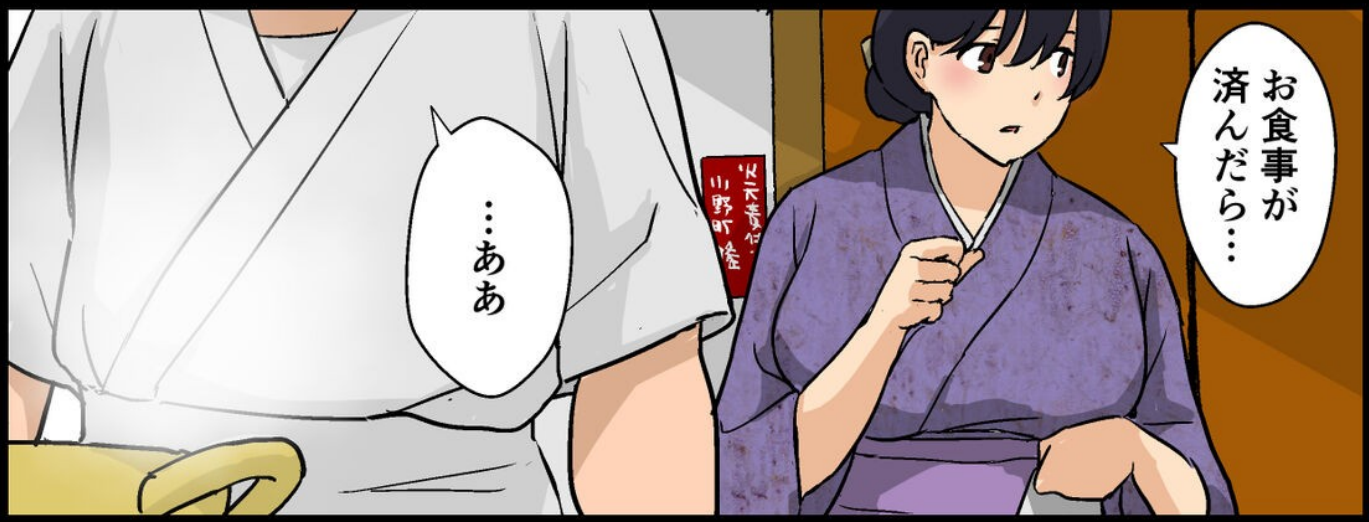

石田様
いらっしゃいませ
女将
また一晩
世話になるぞ
女将は
いつ見ても
あらうれしい
かわいいのぉ
このところ
忙しくてのう
女将に会えず
寂しかったぞ
私も石田様の
お顔を見られず
寂しかったですよ
早速ご挨拶
しちゃいますね
おお…
着いた早々
はい


失礼します
はーむ
嗚呼…愛する家族が待つ我が家に帰って来たようじゃ


ウフフ…それでは夕食までしばらくおくつろぎください
ではひとっ風呂浴びてくるとするかな
亭主殿の料理も楽しみじゃの


調理室
コト
コト


いま
お客様は
お風呂に…
石田様は
お酒召し上がら
ないから…
わかってる


お食事が
済んだら…
…ああ

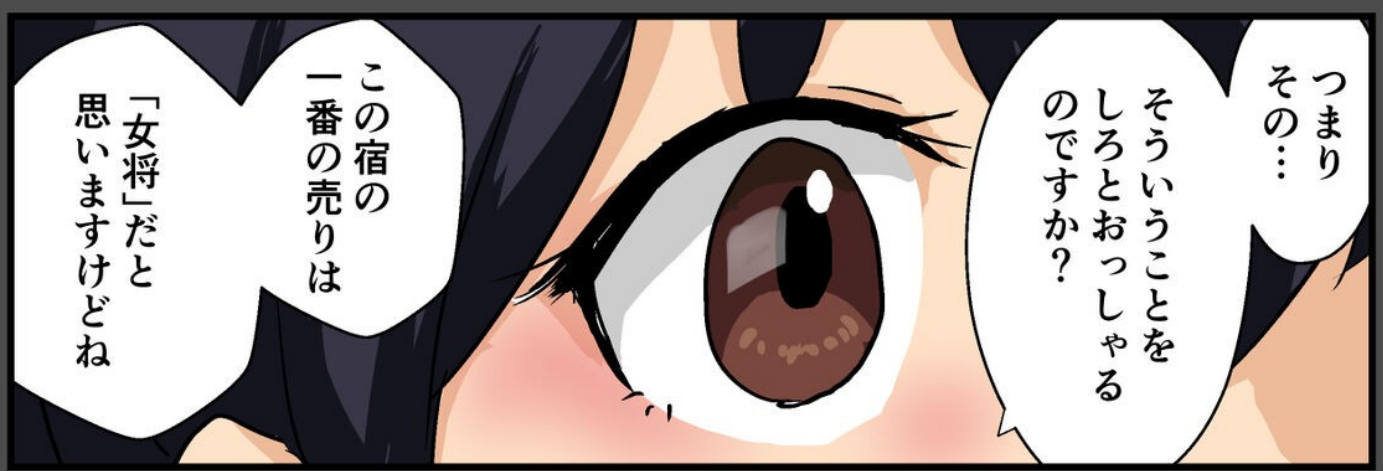

半年前——

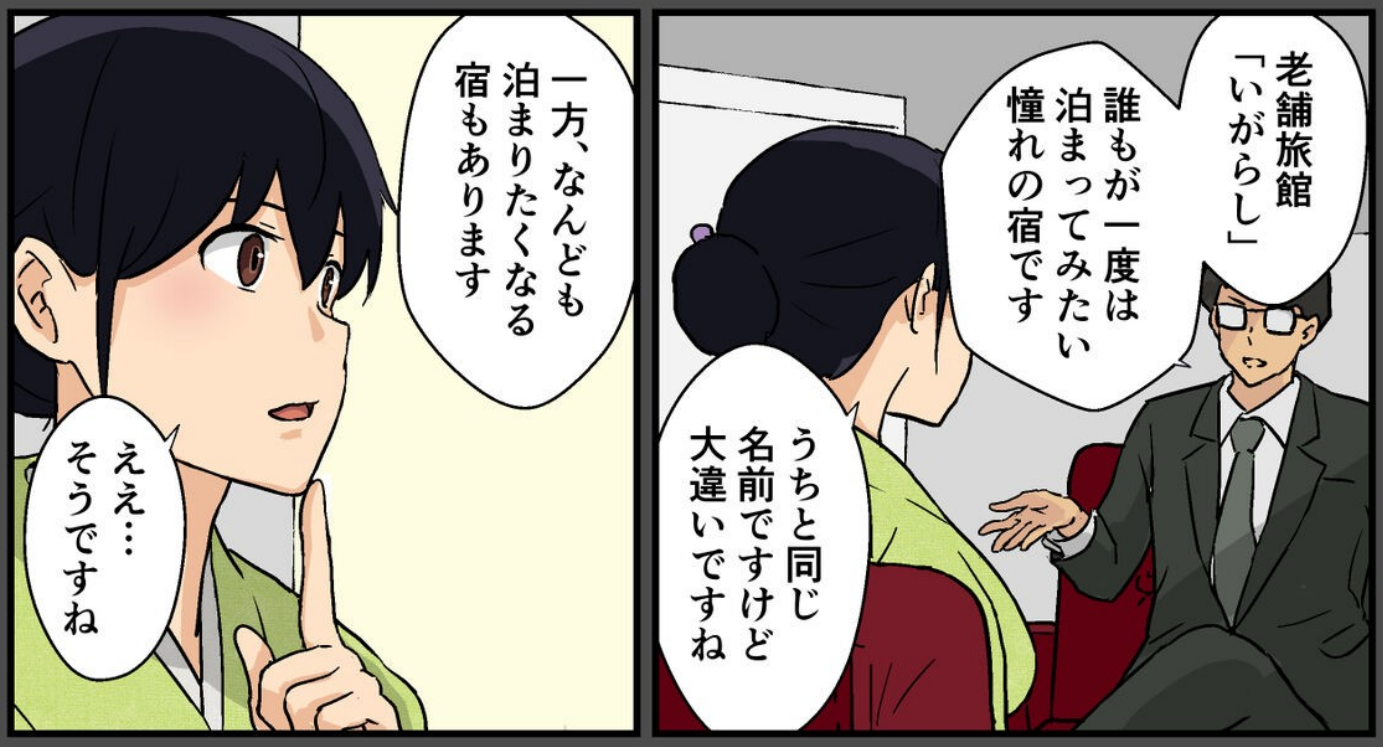

またのお越しを
お待ちしております
ふう…
女将
コンサル会社の人
お待ちだよ


お待たせしました
いえいえ
今のお客様…
はい…？
五十嵐荘女将の
五十嵐葵です
よろしくお願いいたします
いえ…
あらためまして
私、宿屋再生コンサルタントの霧ケ峰と申します

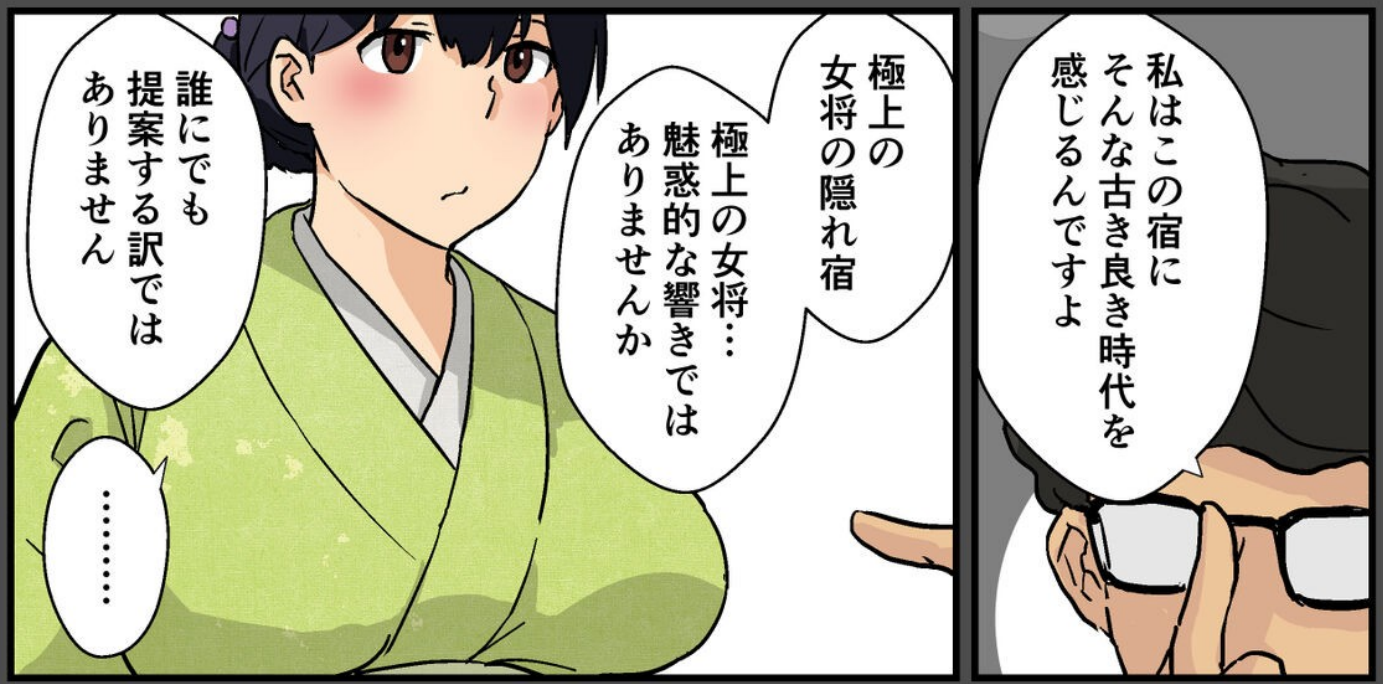

差別化といってもうちの旅館には
主人の料理くらいしか…
今お帰りになったカップルのお客様
はい？
男性のお客様が女将の胸を見てらっしゃいました
……


耳かきやマッサージを売りにする宿をご存知ですね
さらに突き詰めて
男性一人客をターゲットにした高額なサービス
わかりますよね？私が言いたいこと

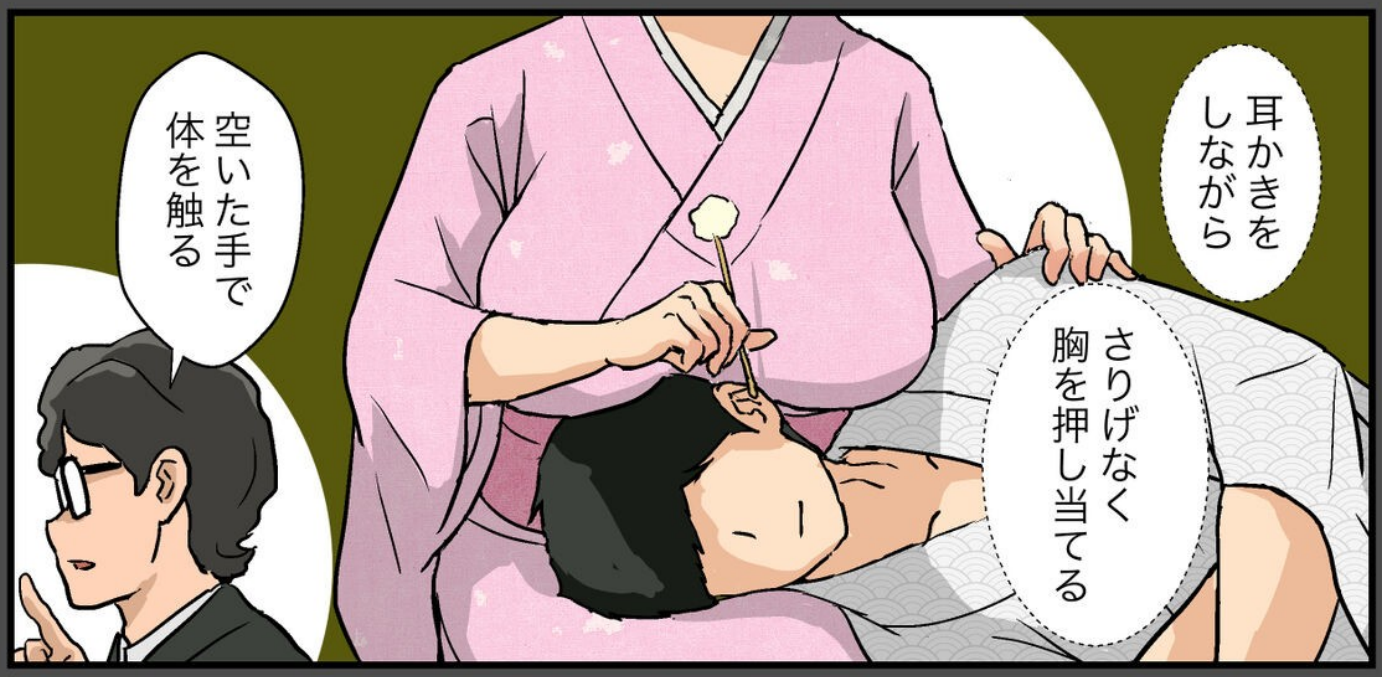

つまりその…
そういうことをしろとおっしゃるのですか？
この宿の一番の売りは
「女将」だと思いますけどね


老舗旅館
「いがらし」
誰もが一度は
泊まってみたい
憧れの宿です
うちと同じ
名前ですけど
大違いですね
一方、なんども
泊まりたくなる
宿もあります
ええ…
そうですね


独り愉しむ隠れ宿
深山の癒しの宿…
昔は
女将の気づかいの宿
なんてのもありました
女将の個性が
売りになった
時代です
先代の
頃ですか


私はこの宿に
そんな古き良き時代を
感じるんですよ
極上の
女将の隠れ宿
極上の女将…
魅惑的な響きでは
ありませんか
誰にでも
提案する訳では
ありません
……


背に腹は
代えられない
際どいけれど
このサービス
霧ヶ峰さんの
おっしゃる通り
やってみよう
と思うの
隆
あなたは？
キミに
任せる
佐久さんは？
どう思いますか
あたしは
アンタたち夫婦が
決めたことなら
でもアンタは
女将であるまえに
隆クンの妻なんだよ
人妻ですから
抵抗はないですよ
今までだって
酔ったお客様に
胸やお尻を…
今度は代金を
頂きますよ

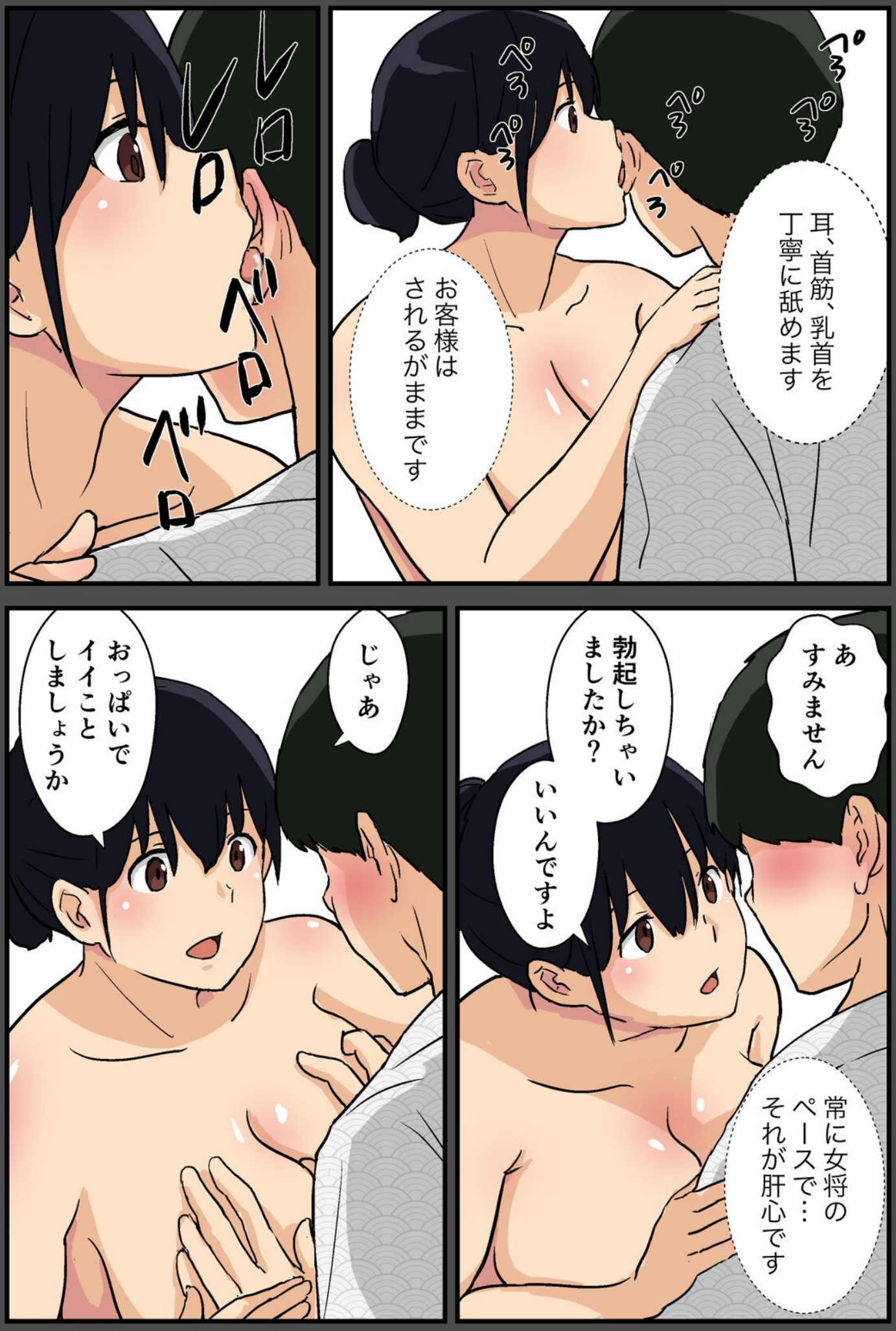

耳かきをしながら
さりげなく胸を押し当てる
空いた手で体を触る


常に胸を強調し
甘い吐息

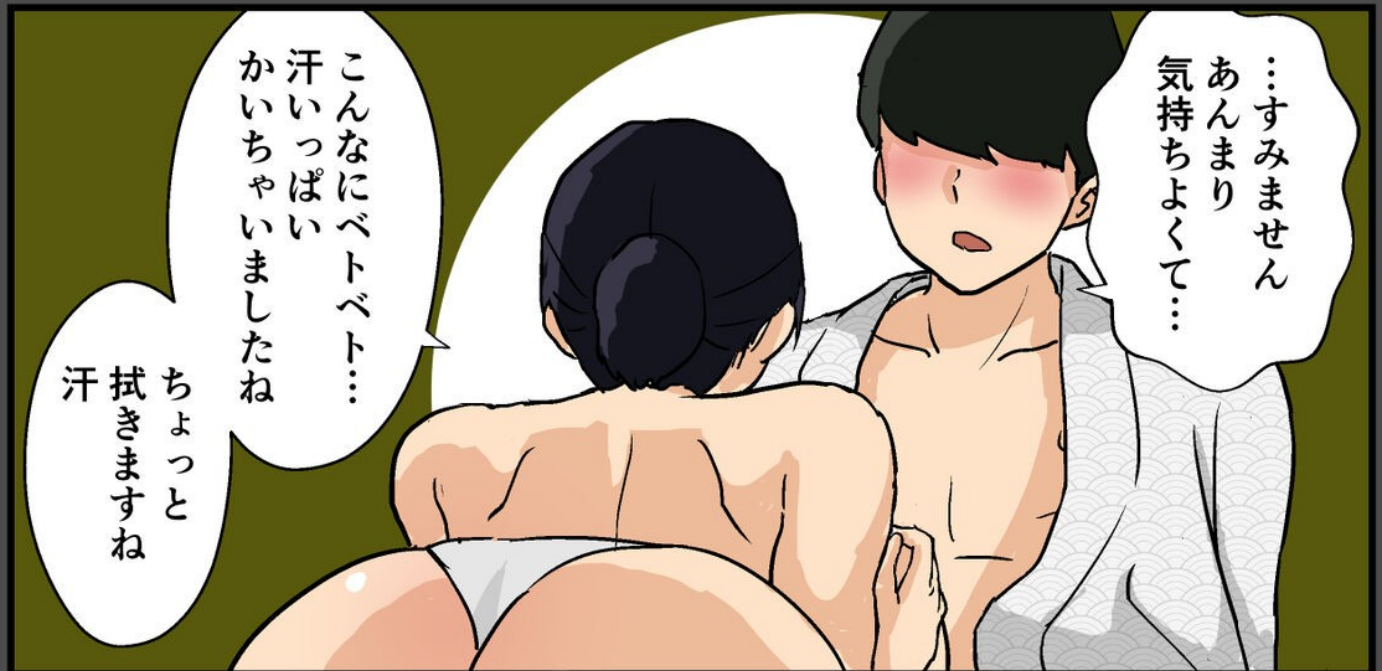

耳元で囁き
お客様は不思議な話…お好きですか
長いこと旅館をやっておりますとお客様から妙なお話を耳にする…

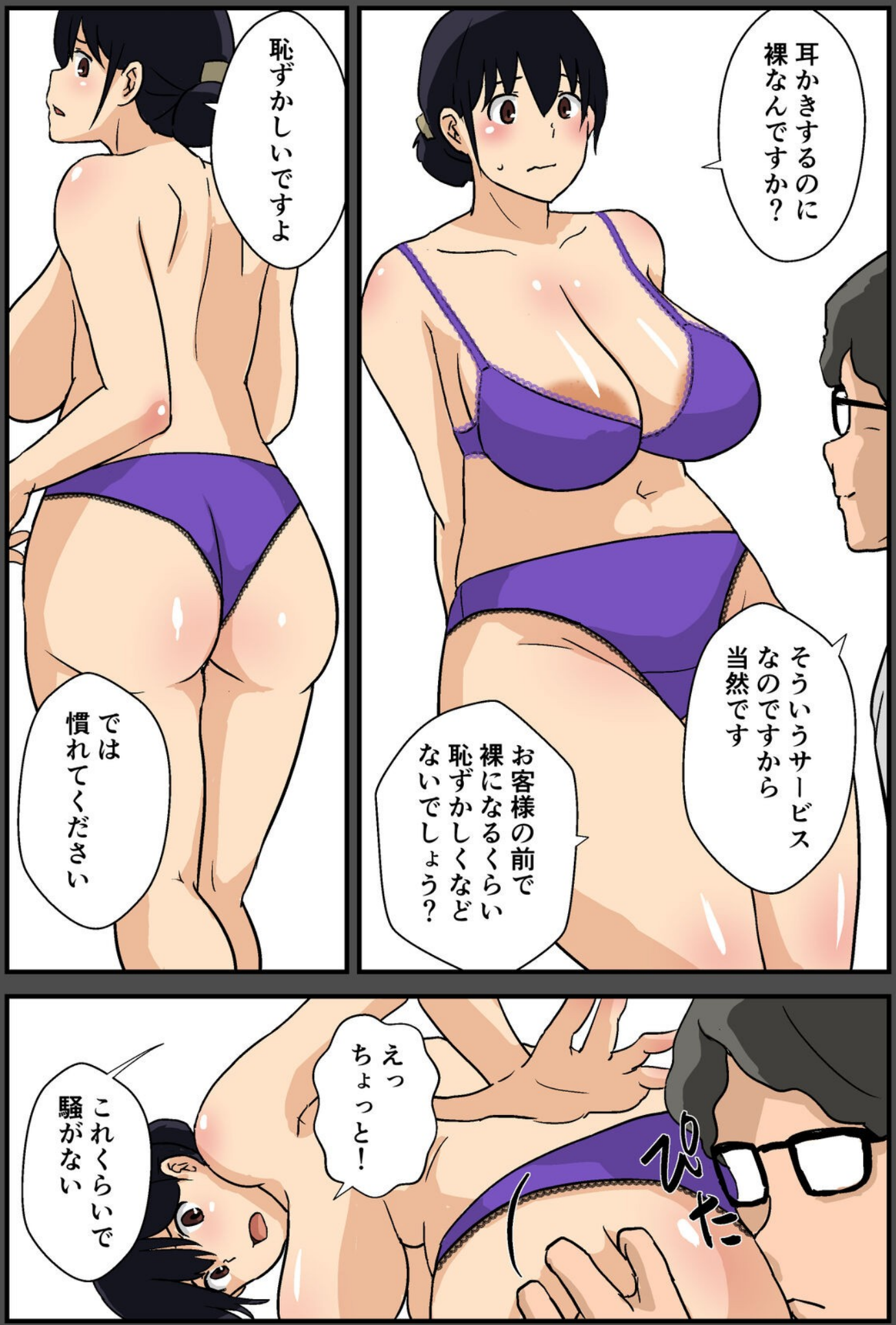

マッサージでは大胆に全身を密着させる
お客様が勃起していたら
事故を装い…射精に導く
どうかなさいましたか？
あ…


ここまでは序の口
裸になりましょう
次はお胸で
マッサージを
あなたの
武器で勝負です
ボロン
小さい頃から
大きい胸が悩みで…
よろしかったら
触ってください
大概のお客様は
その胸で
射精まで
導けるでしょう
いいんですか
フフ
タプタプ
すごい


耳、首筋、乳首を
丁寧に舐めます
お客様は
されるがままです
レロレロ
レロレロ
常に女将の
ペースで…
それが肝心です
あ
すみません
勃起しちゃい
ましたか？
いいんですよ
じゃあ
おっぱいで
イイこと
しましょうか


いかがですかお客様
凝った筋肉をこうして
マッサージすると…
は、はい…
あっ
ドク
ドク
ドク
性器や口を使わず
射精させられれば
一番いいのですが…


…すみません
あんまり
気持ちよくて…
こんなにベトベト…
汗いっぱい
かいちゃいましたね
ちょっと
拭きますね
汗


耳かきするのに裸なんですか？
そういうサービスなのですから当然です
お客様の前で裸になるくらい恥ずかしくなどないでしょう？
恥ずかしいですよ
では慣れてください
えっちょっと！
ぴた
これくらいで騒がない

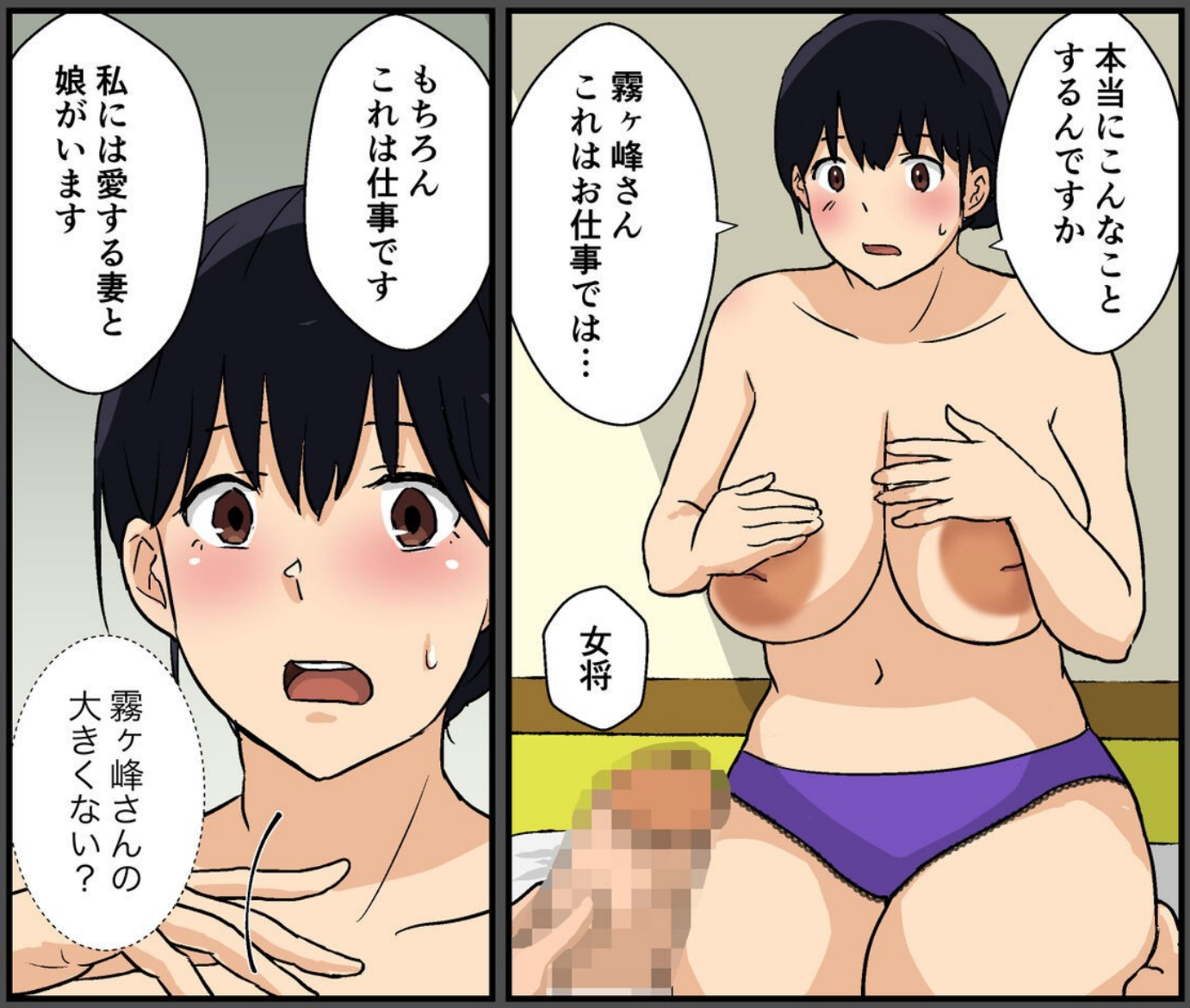

今日から
あなたには
羞恥心と
女将のプライドを
一旦ドブに
捨ててもらいます
女将はこれまで
嫌な思いはたくさん
してきたでしょう
あなたは
頑張った
これからも
頑張れるはずです
私はおかみ…
お客様の為…
この宿の為…

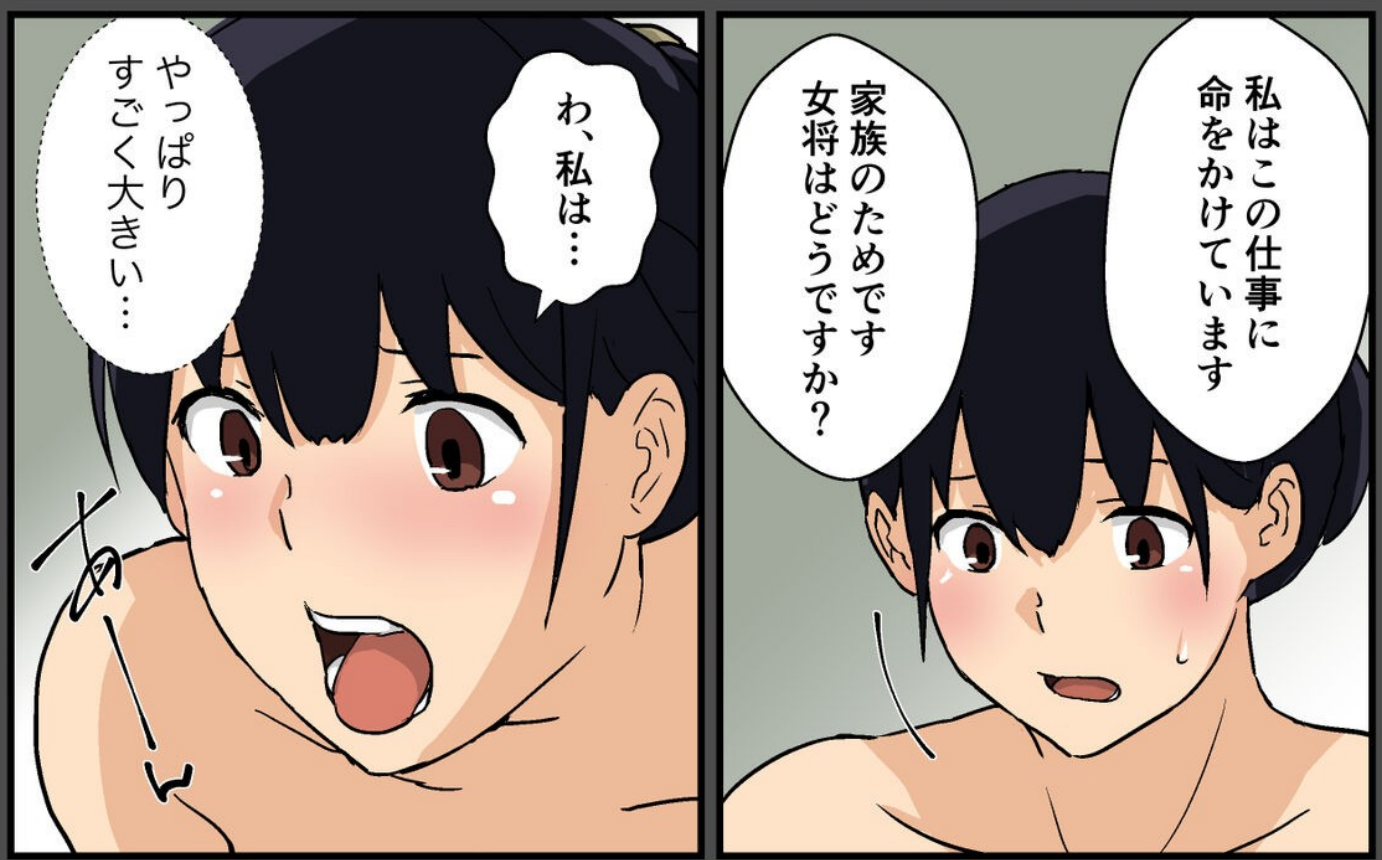

あなたなら
宿を立て直すのも
容易でしょう
本物の女将なら
できるはずです

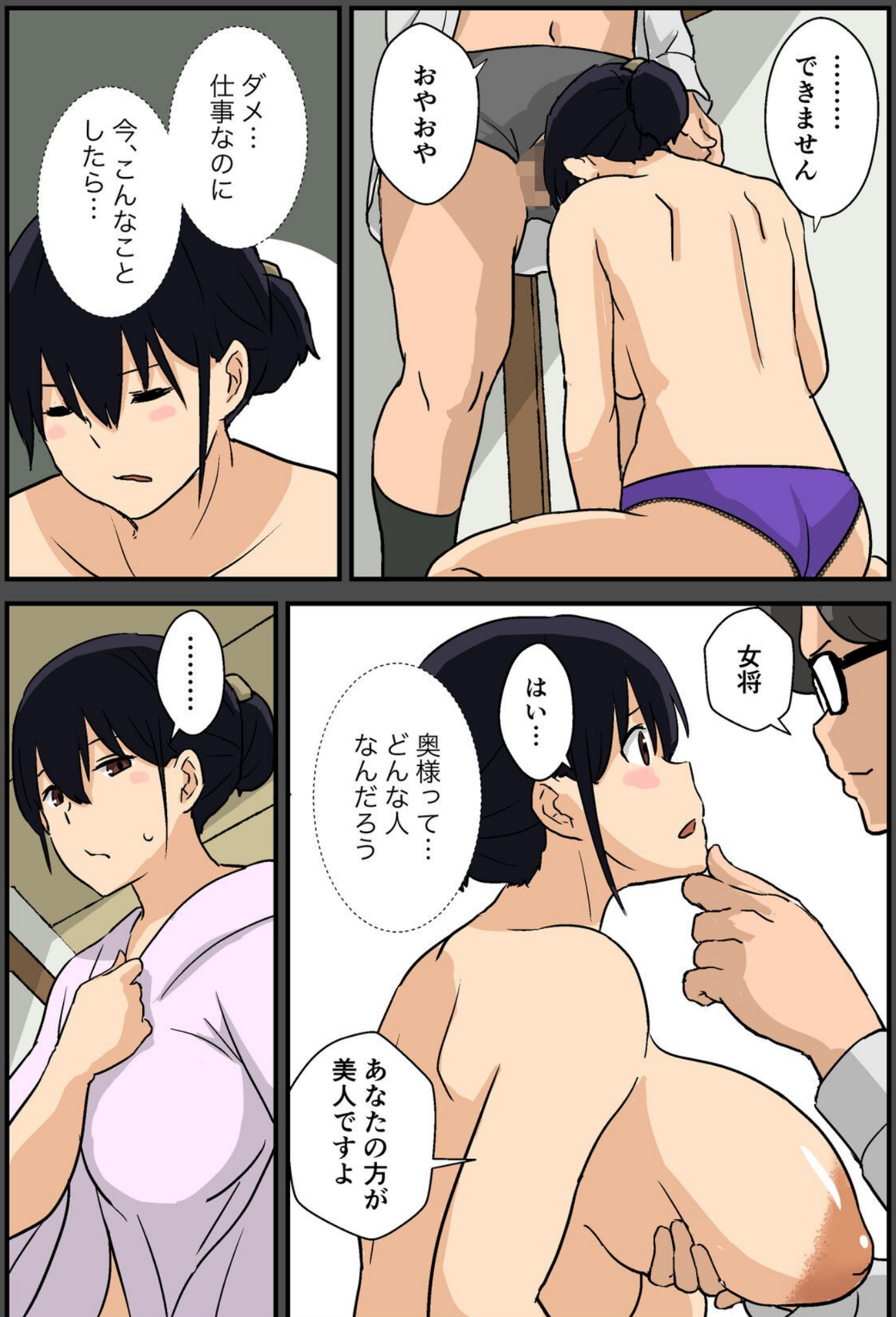

次はお尻でマッサージさせていただきます
こうやってお尻で全身のコリをほぐします
…お尻も大きいのが悩みなんです
触って頂いても構いませんよ

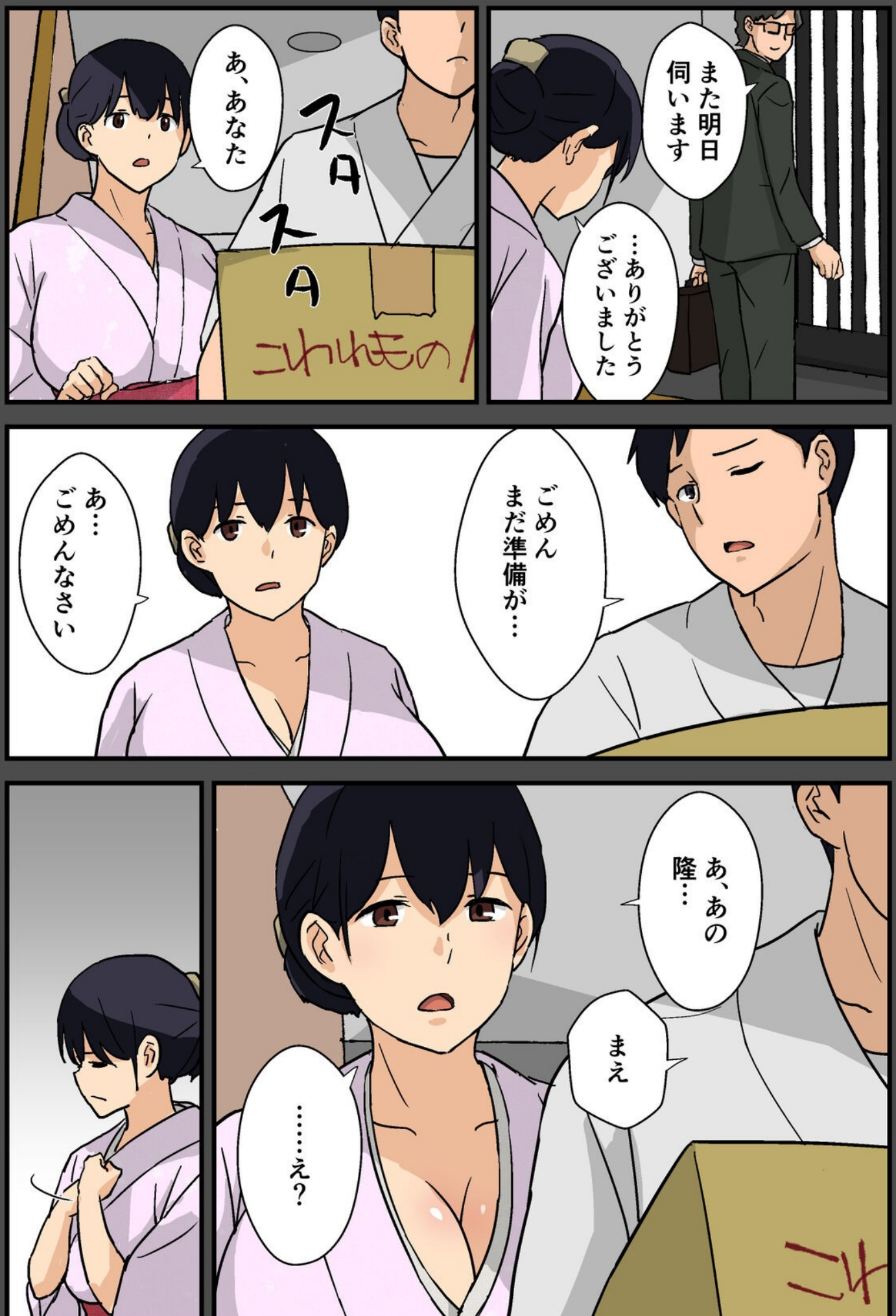

女将さんまた…
あら
なんどでも気持ちよくなっていいんですよ

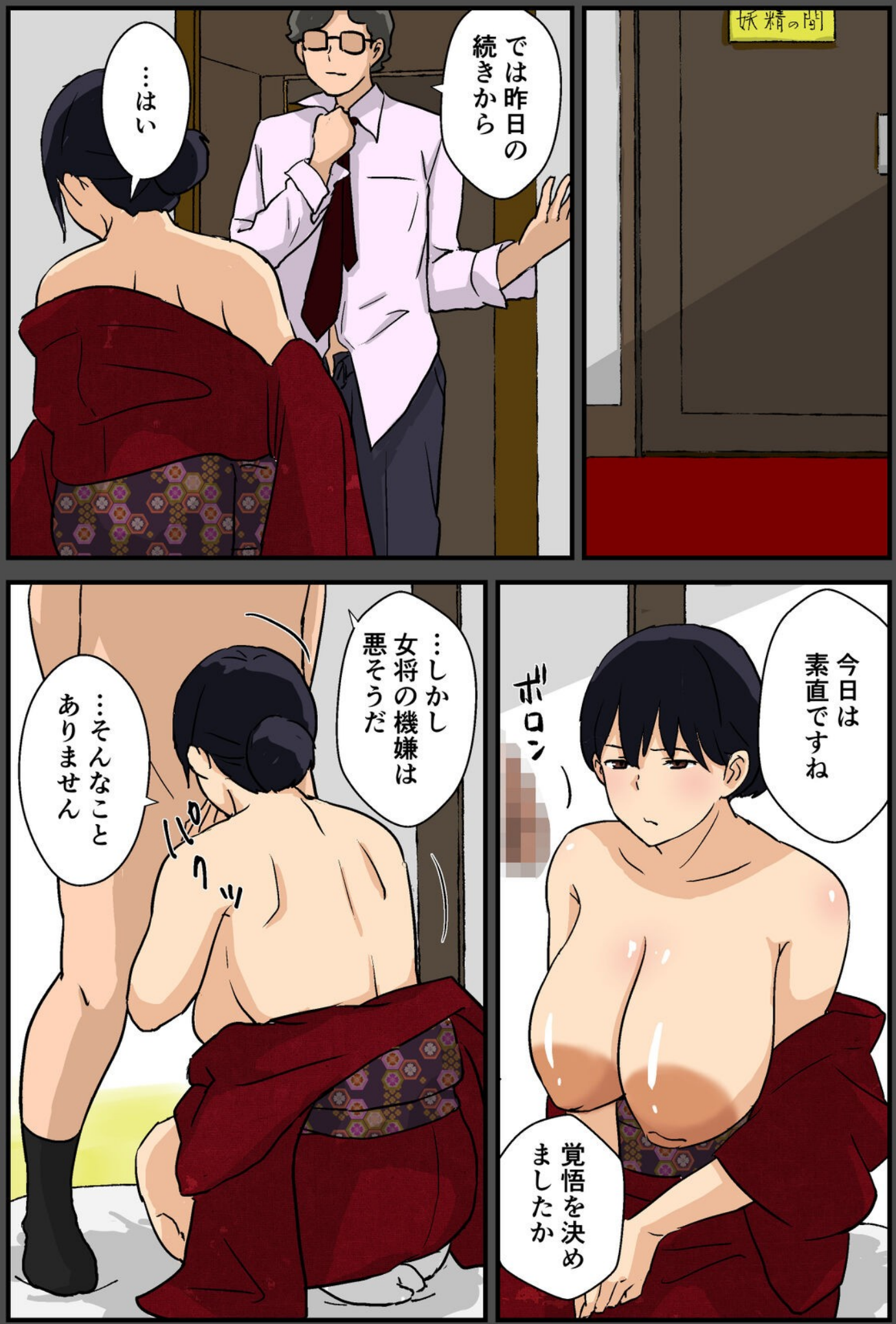

足の指もマッサージいたします
お客様お疲れですね
ちゃぱ
えっ…!?
はーい
ついでにこっちも失礼いたします
むー
ちゃぱ
ちゃぱ
…ん……
……はむ…


本当にこんなことするんですか
霧ヶ峰さん これはお仕事では…
女将
もちろん これは仕事です
私には愛する妻と娘がいます
霧ヶ峰さんの大きくない？


私はこの仕事に命をかけています
家族のためです 女将はどうですか？
わ、私は…
やっぱり すごく大きい…


……できません
おやおや
ダメ…仕事なのに
今、こんなことしたら…
女将
はい…
奥様って…どんな人なんだろう
あなたの方が美人ですよ
……


また明日伺います
…ありがとうございました
あ、あなた
こわれもの
ごめん まだ準備が…
あ… ごめんなさい
あ、あの隆…
まえ
……え？


妖精の間
では昨日の続きから
…はい
今日は素直ですね
ボロン
覚悟を決めましたか
…しかし女将の機嫌は悪そうだ
…そんなことありません
パクッ


ご主人が浮気ですか？
意外ですね
真面目な板さんって感じなのに
その…このところずっと……
なるほど
女将を縁の下から支えている
あなたへの忠誠、愛…
今回の私の提案に反対しなかったのは
あなたを信用しているのですよ
気にしすぎではありませんか
ご主人年下なんですよね…？

悪いお姉さんが田舎の少年を誑かしたと

狸みたいに言わないでください

ペロ

女将さんはいつもうしろから？

はっ？

顔が見えると恥ずかしいからです…

こっちの方が…まあ、人それぞれですから…

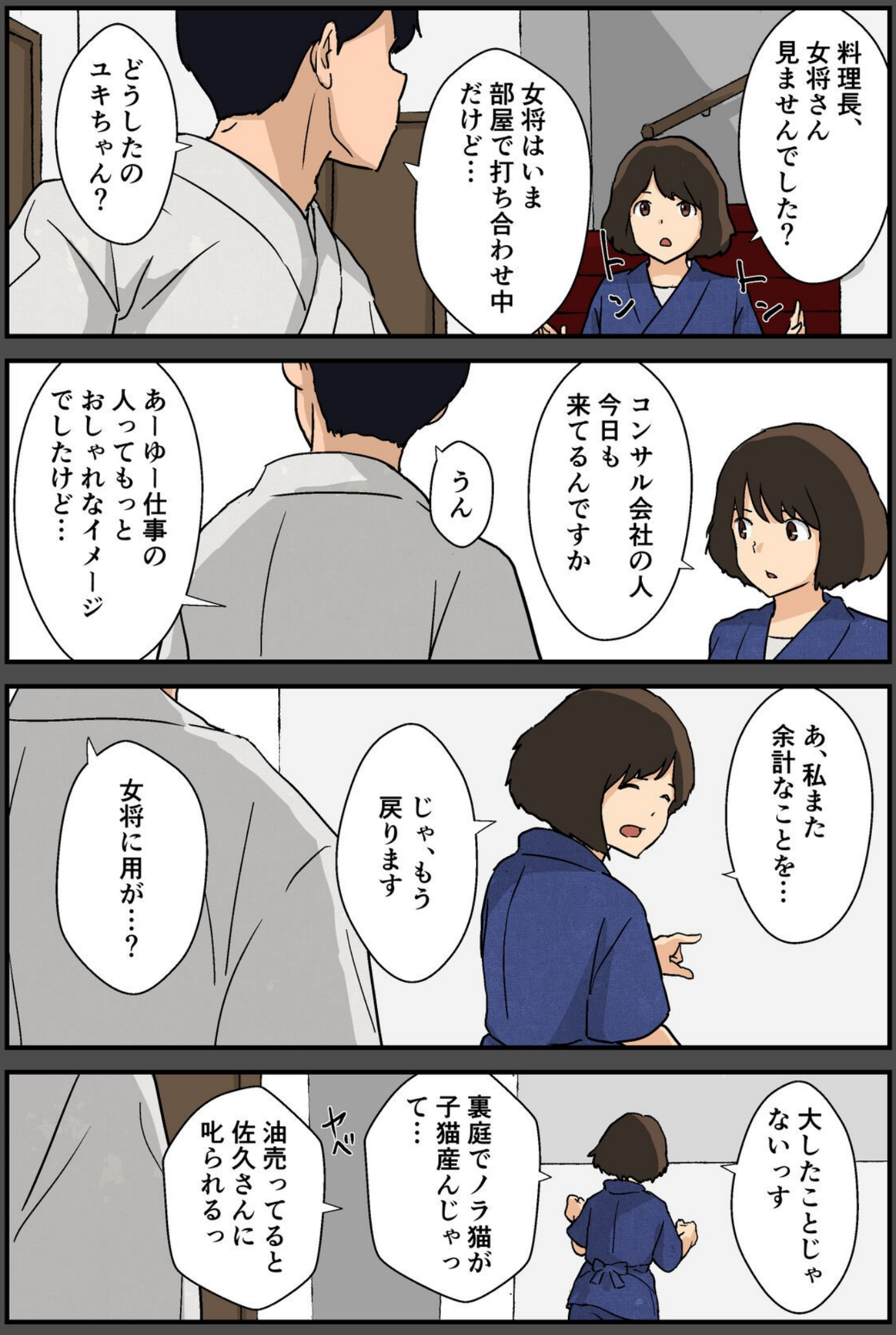
年下の亭主を持つと…

パンッ パンッ パンッ パンッ

若い女と浮気している妄想が頭から離れない

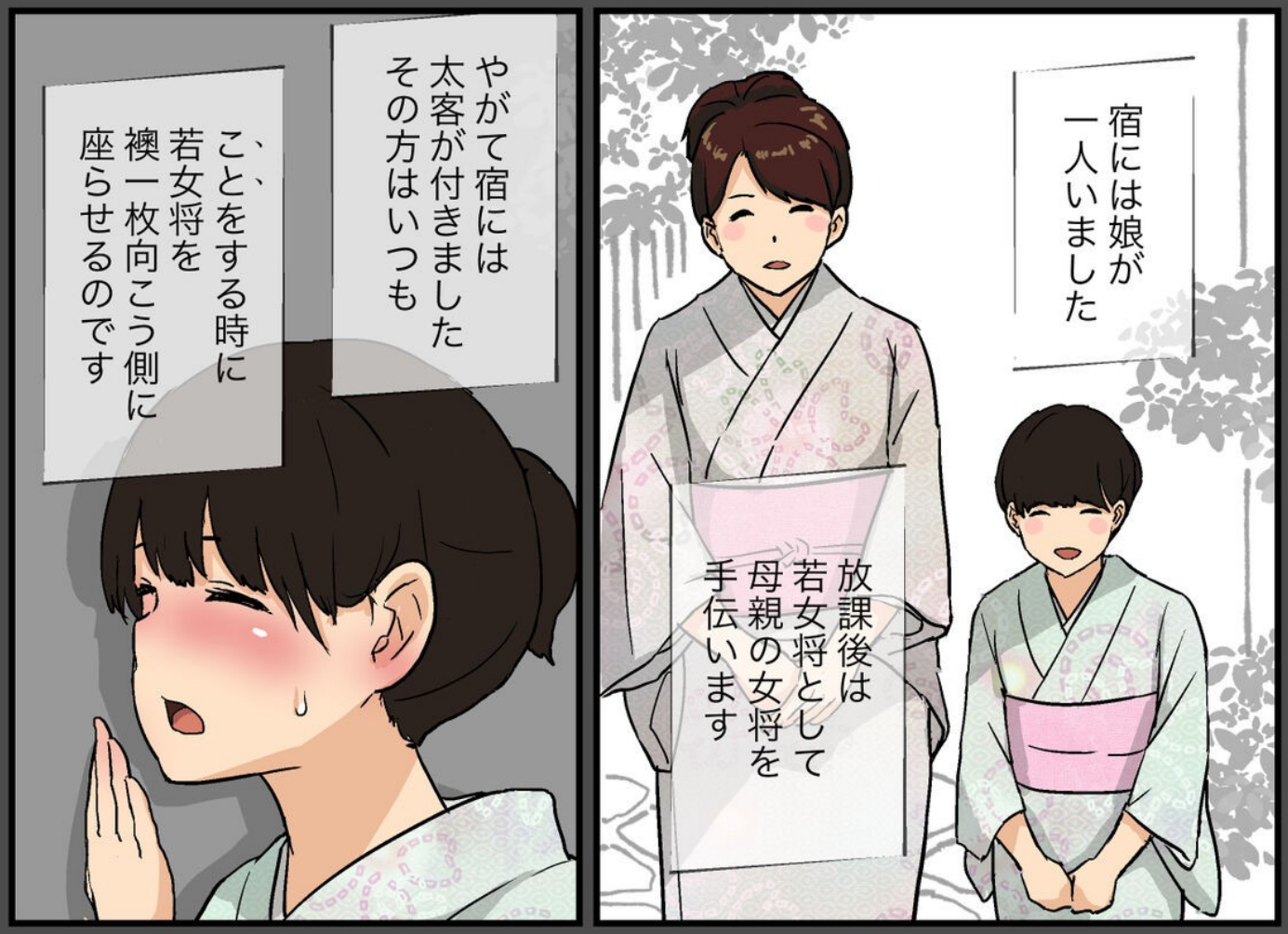

だから自分だって楽しむ権利はある
それでいいんですよ
ちがいます…これは仕事です
私は楽しんでなんか…
ハンッ
ハンッ
ハンッ
ハンッ
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ

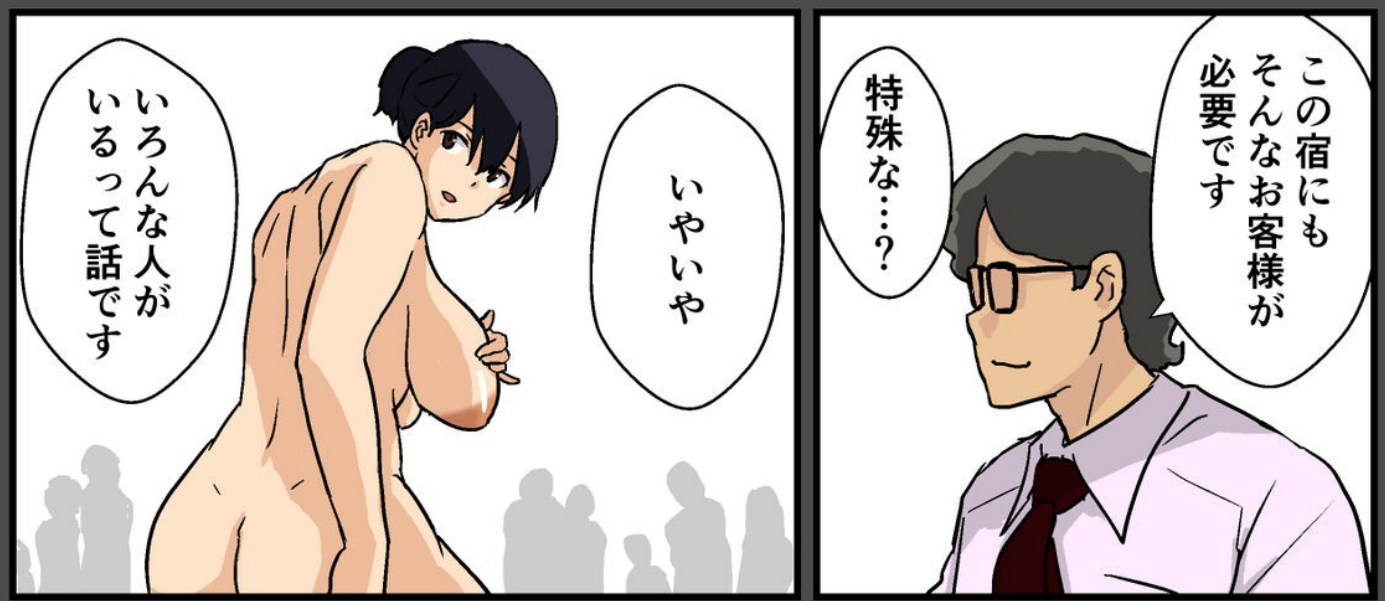

私の仕事は宿の再生です
宿とはなにか？宿は器に過ぎない
その柱は人なんです
人間の再生が私の仕事です
あっ
あ、


料理長、女将さん見ませんでした？
女将はいま部屋で打ち合わせ中だけど…
どうしたのユキちゃん？
トン
トン
コンサル会社の人今日も来てるんですか
うん
あーゆー仕事の人ってもっとおしゃれなイメージでしたけど…
あ、私また余計なことを…
じゃ、もう戻ります
女将に用が…？
大したことじゃないっす
裏庭でノラ猫が子猫産んじゃって…
ヤベ
油売ってると佐久さんに叱られるっ


あ…もう
ゴムがないな
タプ
タプ
えっ!?
それは困…
その宿の持つ
雰囲気は
そこの女将の
心情に
影響されます
今、ちょっと
宿の雰囲気が
変わりました
どこかで
新しい命が
生まれたような
は!?
なに言って…
こんなに
出ましたよ
新しい命
って…!?
夫は…
ぜったい
浮気しています


お客様にも色々な人がいます
昔私が担当した旅館の話です
その旅館にも私は今回と同じ提案をしました


宿には娘が一人いました
放課後は若女将として母親の女将を手伝います
やがて宿には太客が付きました
その方はいつも
こ、ことをする時に若女将を襖一枚向こう側に座らせるのです

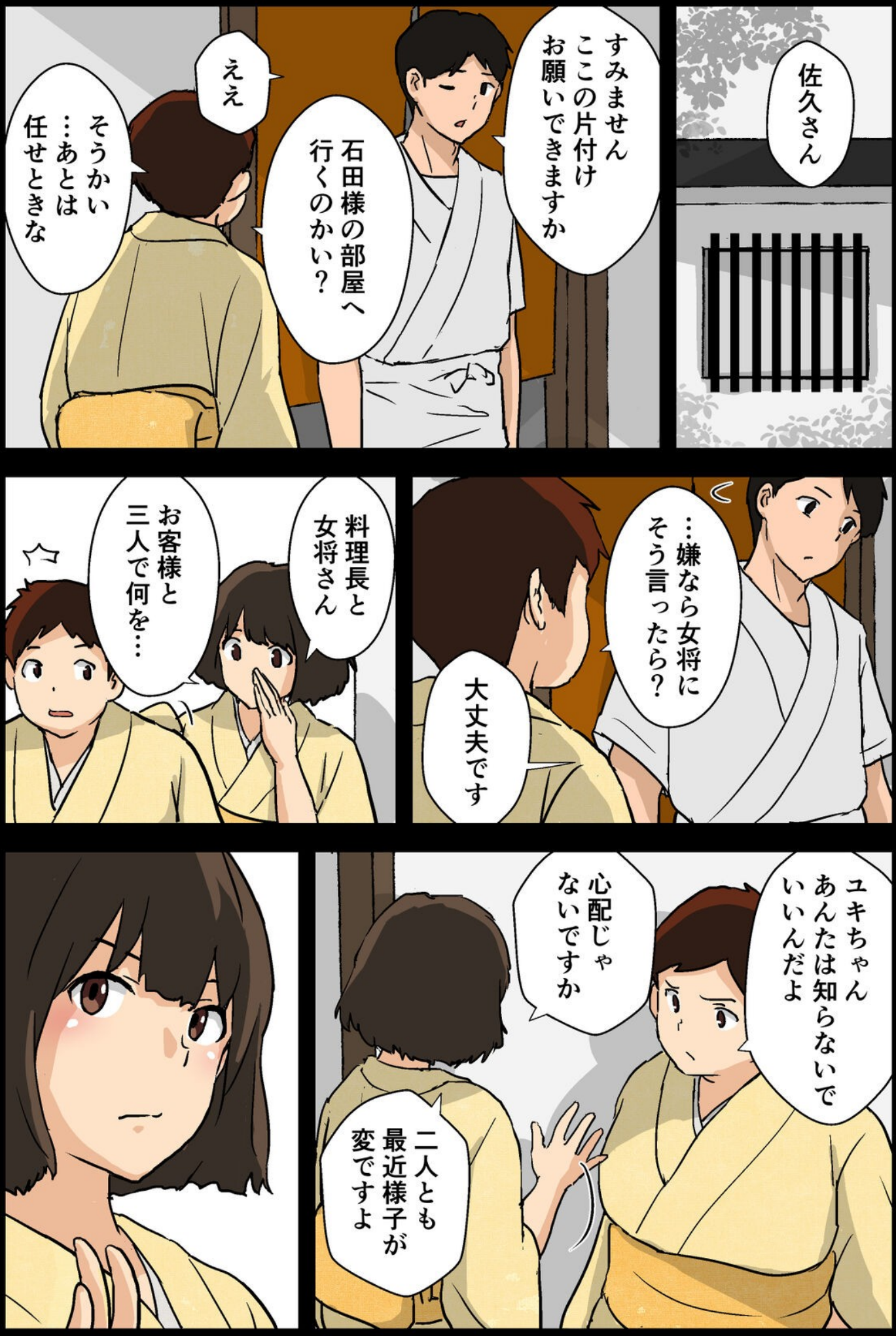

この宿にもそんなお客様が必要です
特殊な…？
いやいや
いろんな人がいるって話です


あのキリガミネって人
信用できるのかい？
女将アンタなに惚けた顔してんだい
あらっ佐久さん
あらじゃないよ
大丈夫です
準備は順調…私は覚えがいいって
霧ヶ峰さんはお客様も紹介してくれるそうですし
私もＡＶとか観てもっと学ばなくては
…アンタ正気かい？

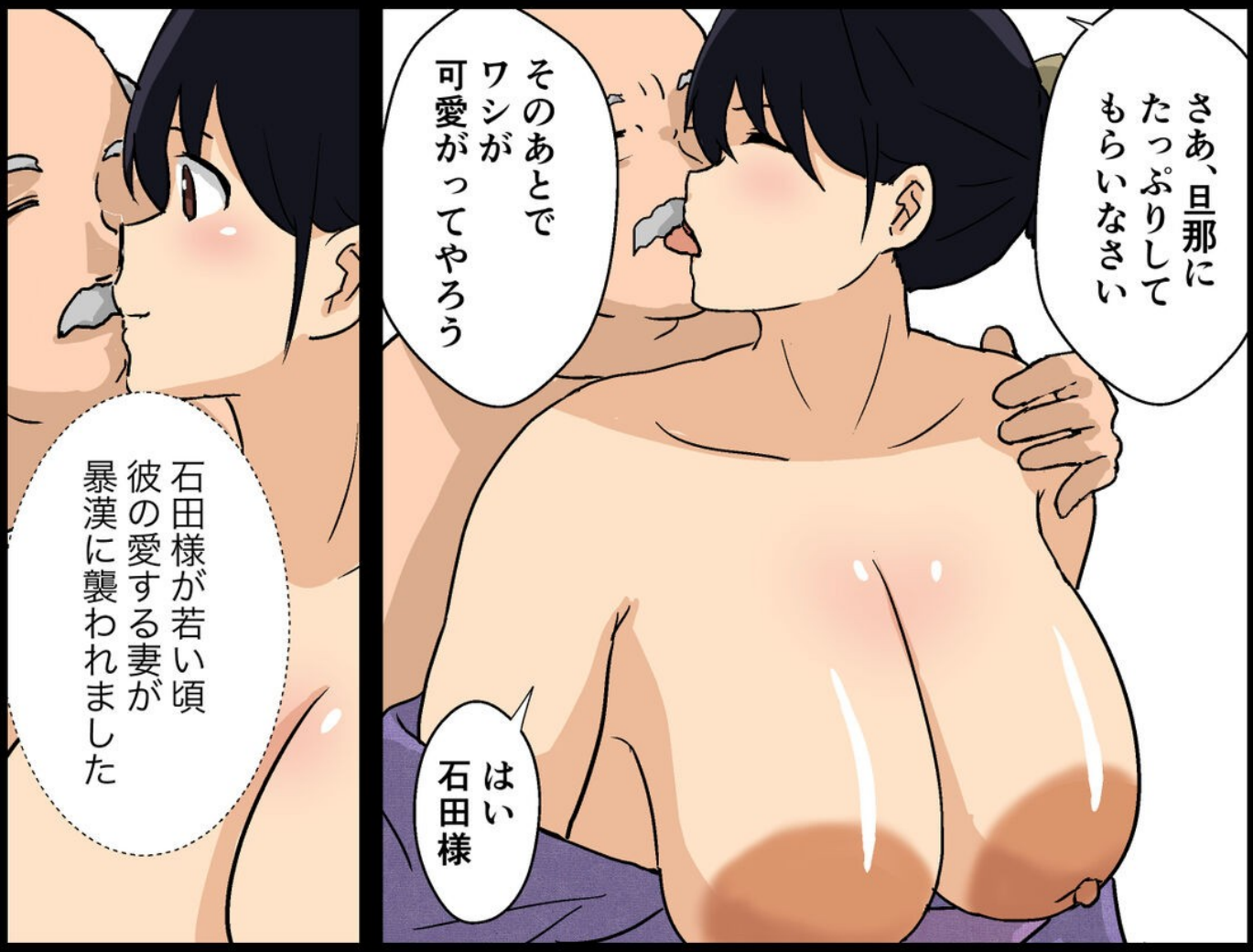

もっと学ばなくては……

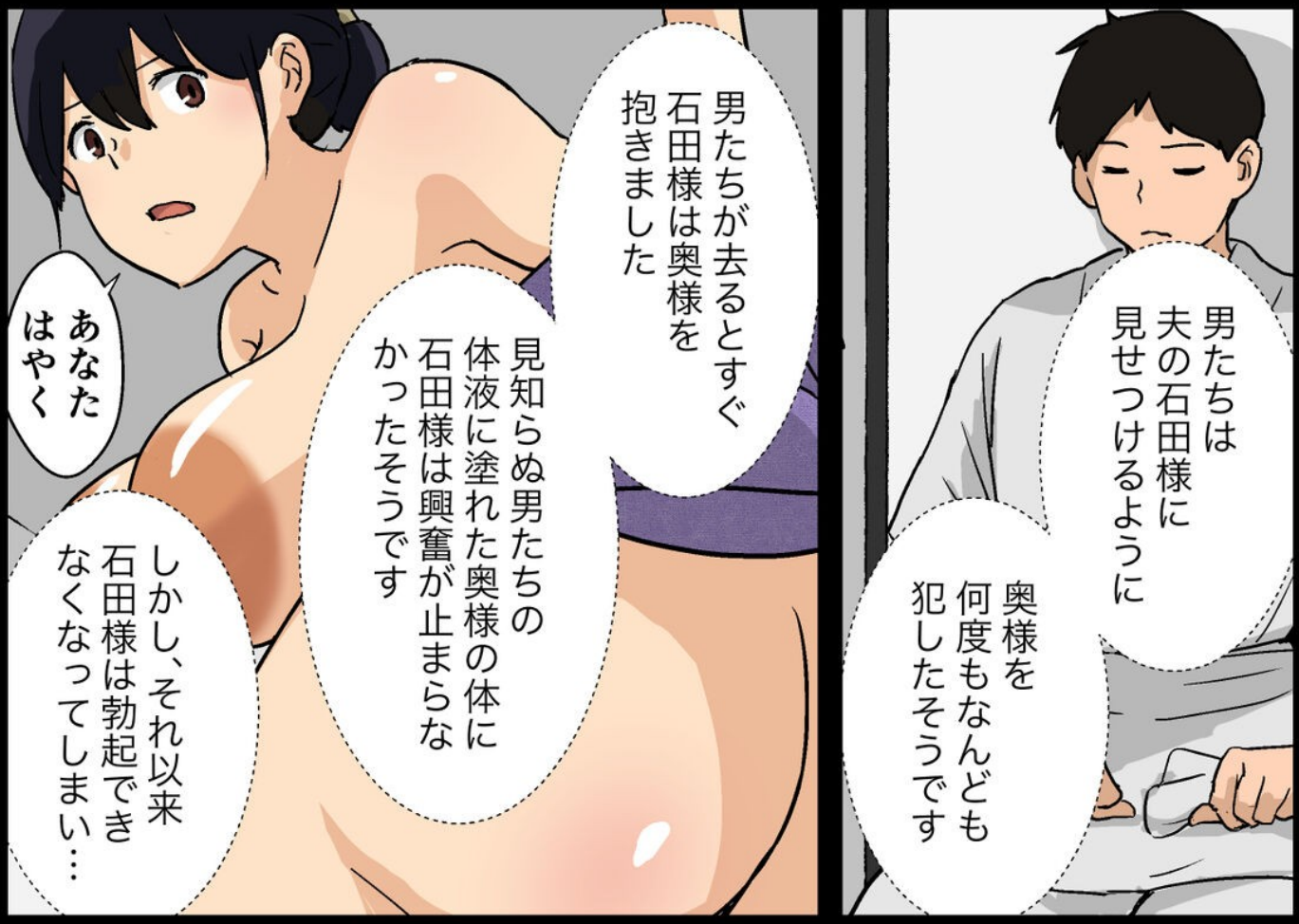

……


……

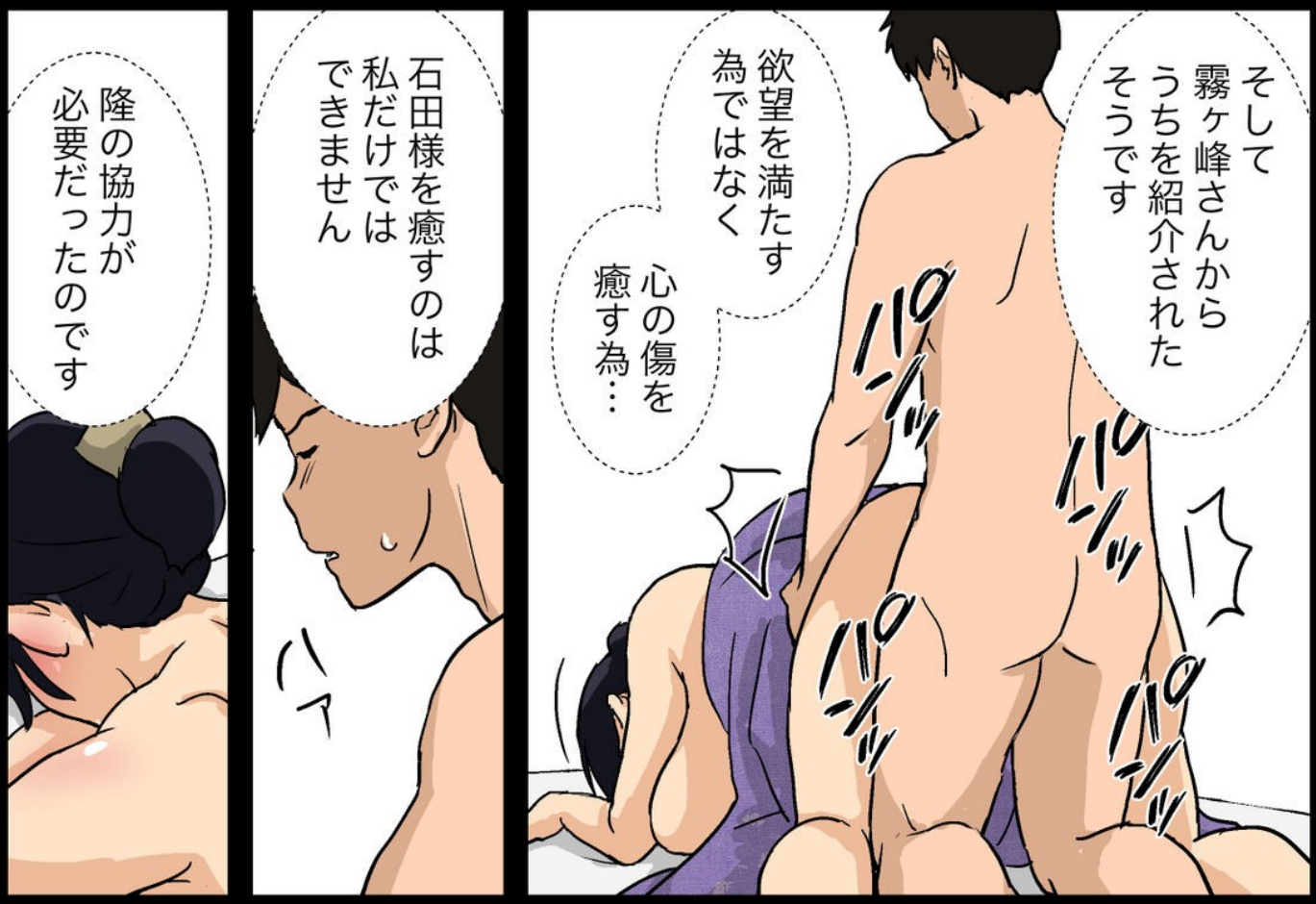

佐久さん
すみません
ここの片付け
お願いできますか
ええ
石田様の部屋へ
行くのかい？
そうかい
…あとは
任せときな
…嫌なら女将に
そう言ったら？
大丈夫です
料理長と
女将さん
お客様と
三人で何を…
ユキちゃん
あんたは知らないで
いいんだよ
心配じゃ
ないですか
二人とも
最近様子が
変ですよ

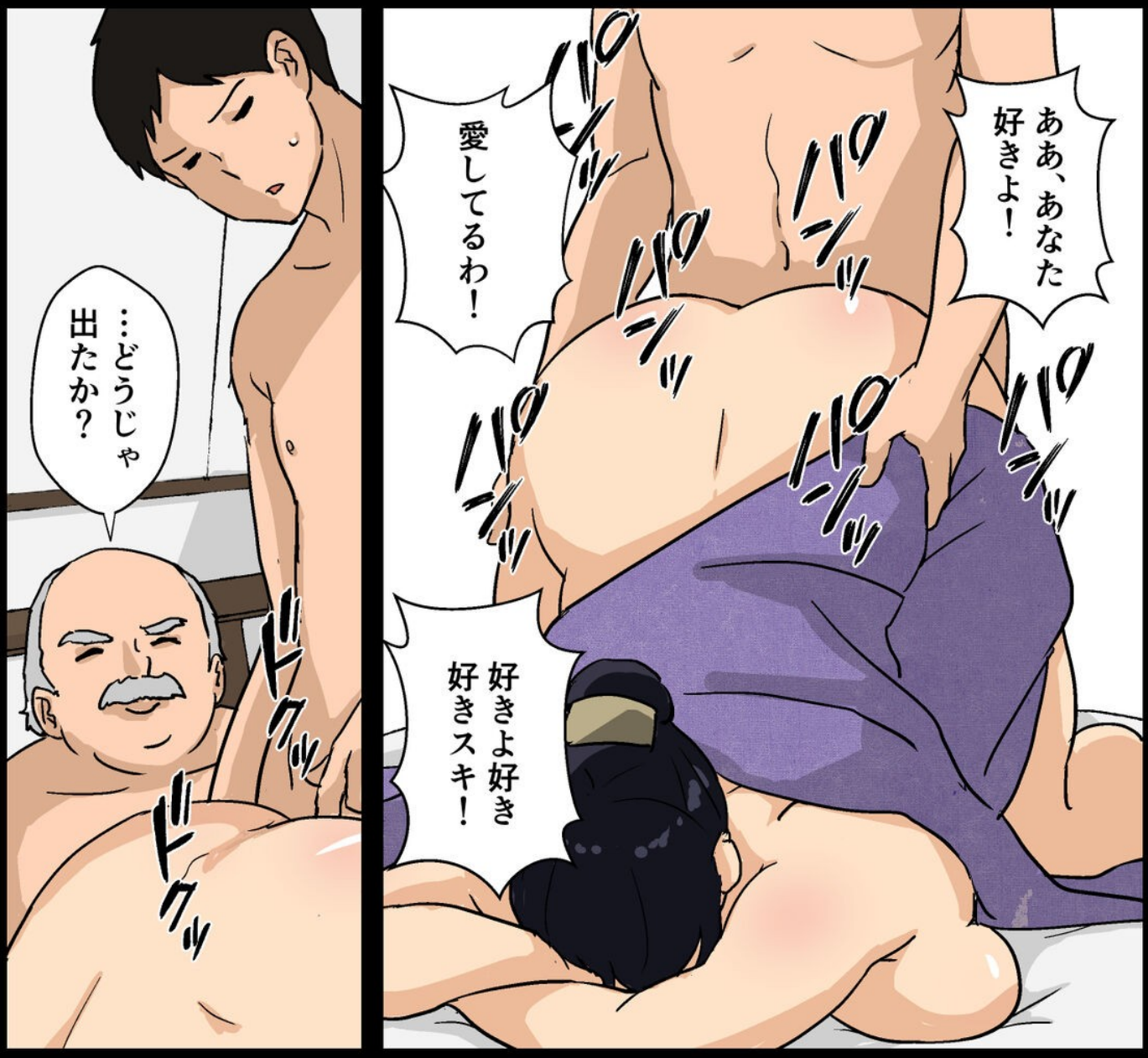

失礼します
おお、来たか
亭主殿
カラ
石田様
本日はようこそ
お越しくださいました
いつものように
わしに夫婦の営みを
見せてくれ
旦那のが欲しくて
女将の穴はもう
びしょびしょじゃぞ
自ら
慰めておる
くちゅっ


さあ、旦那に
たっぷりして
もらいなさい
そのあとで
ワシが
可愛がってやろう
はい
石田様
石田様が若い頃
彼の愛する妻が
暴漢に襲われました

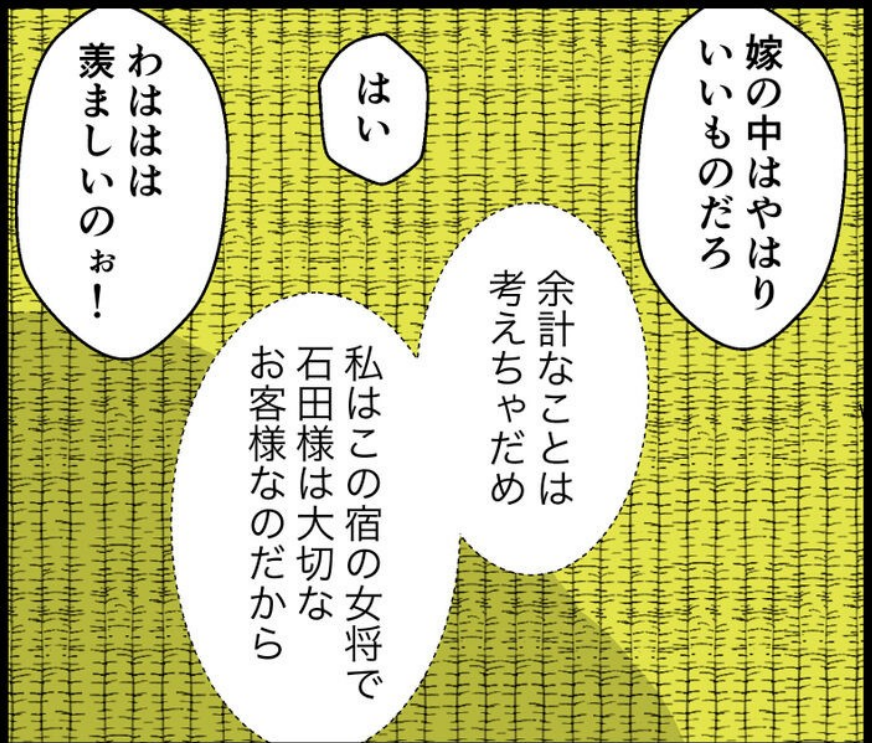

男たちは
夫の石田様に
見せつけるように
奥様を
何度もなんども
犯したそうです
男たちが去るとすぐ
石田様は奥様を
抱きました
見知らぬ男たちの
体液に塗れた奥様の体に
石田様は興奮が止まらな
かったそうです
あなた
はやく
しかし、それ以来
石田様は勃起でき
なくなってしまい…

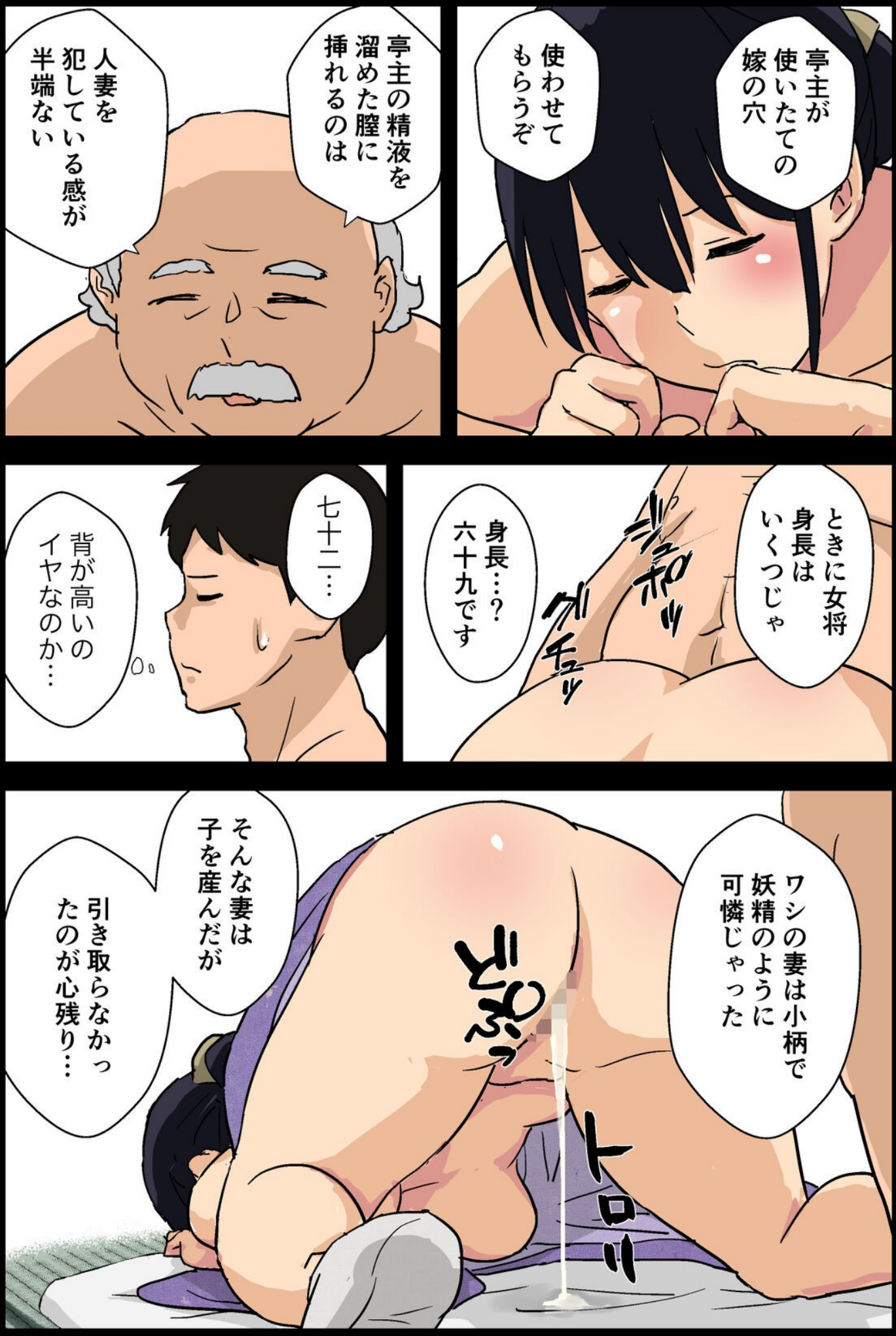

離婚後は独身を貫き働くことだけが生き甲斐でした…
しかしその間ずっと抑えきれない欲情を抱えていたのです
…あのときのケダモノと同じ歪んだ欲情を
お金持ちにはなったけれどかわいそうな人です

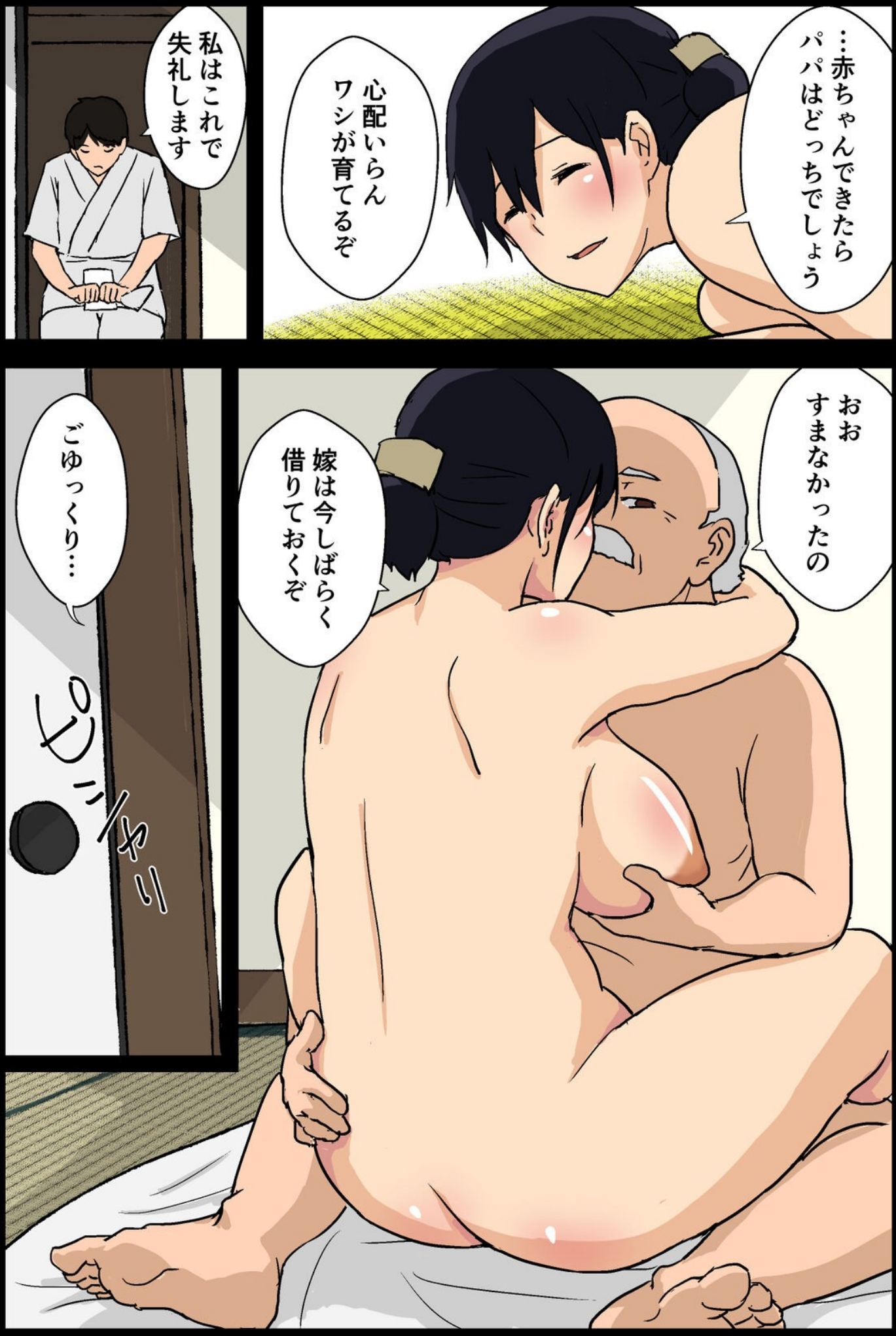

そして霧ヶ峰さんからうちを紹介されたそうです
欲望を満たす為ではなく心の傷を癒す為…
石田様を癒すのは私だけではできません
ハァ
隆の協力が必要だったのです

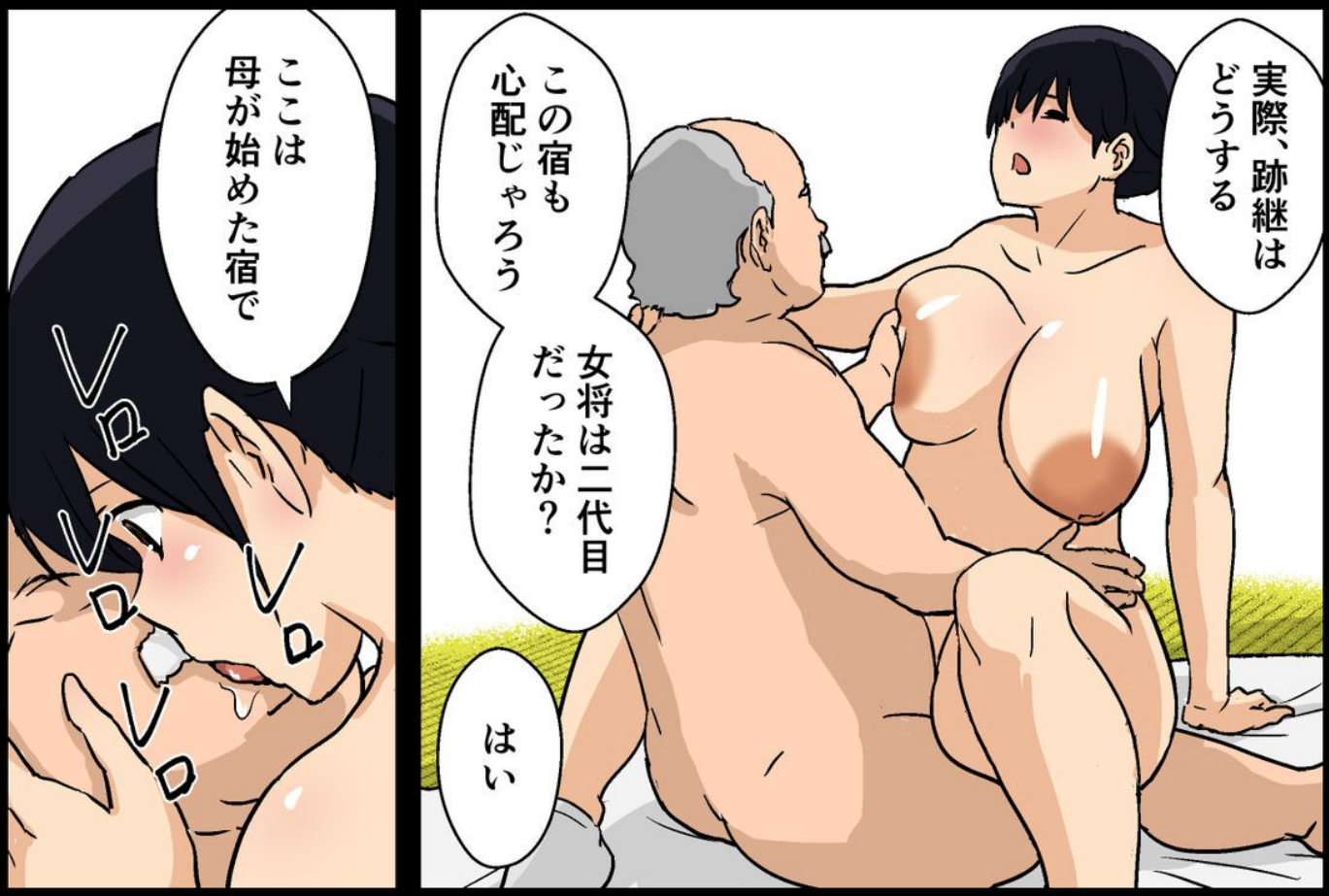

ああ、あなた好きよ！
愛してるわ！
好きよ好き好きスキ！
…どうじゃ出たか？


……
この話ホントかしら…？？


嫁の中はやはりいいものだろ
はい
余計なことは考えちゃだめ
私はこの宿の女将で石田様は大切なお客様なのだから
わはははは羨ましいのぉ！


亭主が使いたての嫁の穴
使わせてもらうぞ
亭主の精液を溜めた膣に挿れるのは
人妻を犯している感が半端ない
ときに女将
身長はいくつじゃ
ジュボッ
グチュッ
身長…？六十九です
七十二…
背が高いのイヤなのか…
ワシの妻は小柄で妖精のように可憐じゃった
どぴゅっ
トロ…
そんな妻は子を産んだが
引き取らなかったのが心残り…


…赤ちゃんできたらパパはどっちでしょう
心配いらんワシが育てるぞ
私はこれで失礼します
おおすまなかったの
嫁は今しばらく借りておくぞ
ごゆっくり…
ピシャリ

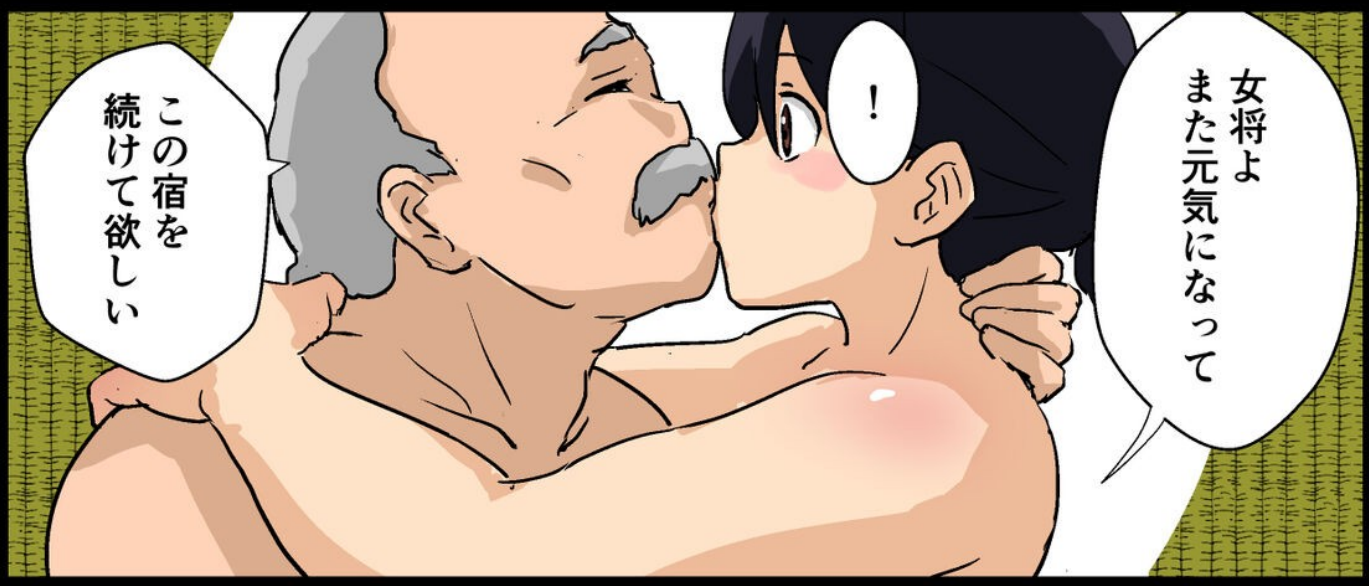

実際、跡継はどうする
この宿も心配じゃろう
女将は二代目だったか？
はい
ここは母が始めた宿で
レロレロレロ


創業時はテンペスト荘といいましたが
なぜかすぐに今の五十嵐荘という名になったんです
そうか
先代女将は独特のセンスを持っているな
わしもぜひ会ってみたかったのう
バチュッ
バチュッ

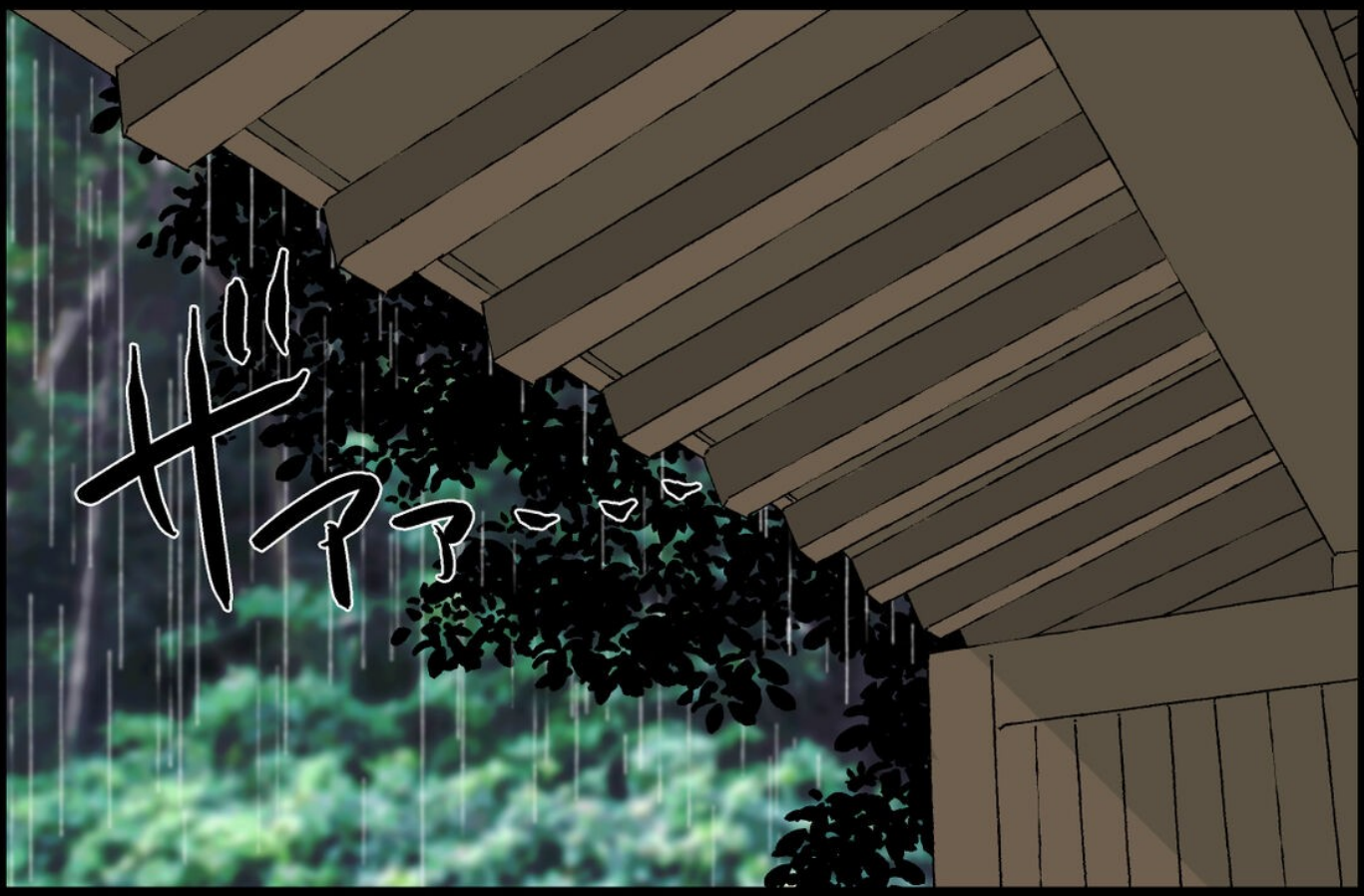

女将、ワシの顔にまたがって
オホ声を頼む
お客様の顔に跨っていいのかしら…
オホ声ですか？
オ…オホォ
こ、これでいいのかしら？
オホォォォおぼぼぼぉ
こうしていると体の奥から声が聞こえる
じゅるるる
ズズズ
ちゅるるる


これは…
も…漏れそう
お客様のお顔の上で粗相なんて…
ビクビク
パ
ペ
ロ
レ
ビョろろろ…
あっ♡
嵐じゃ！大洪水じゃ

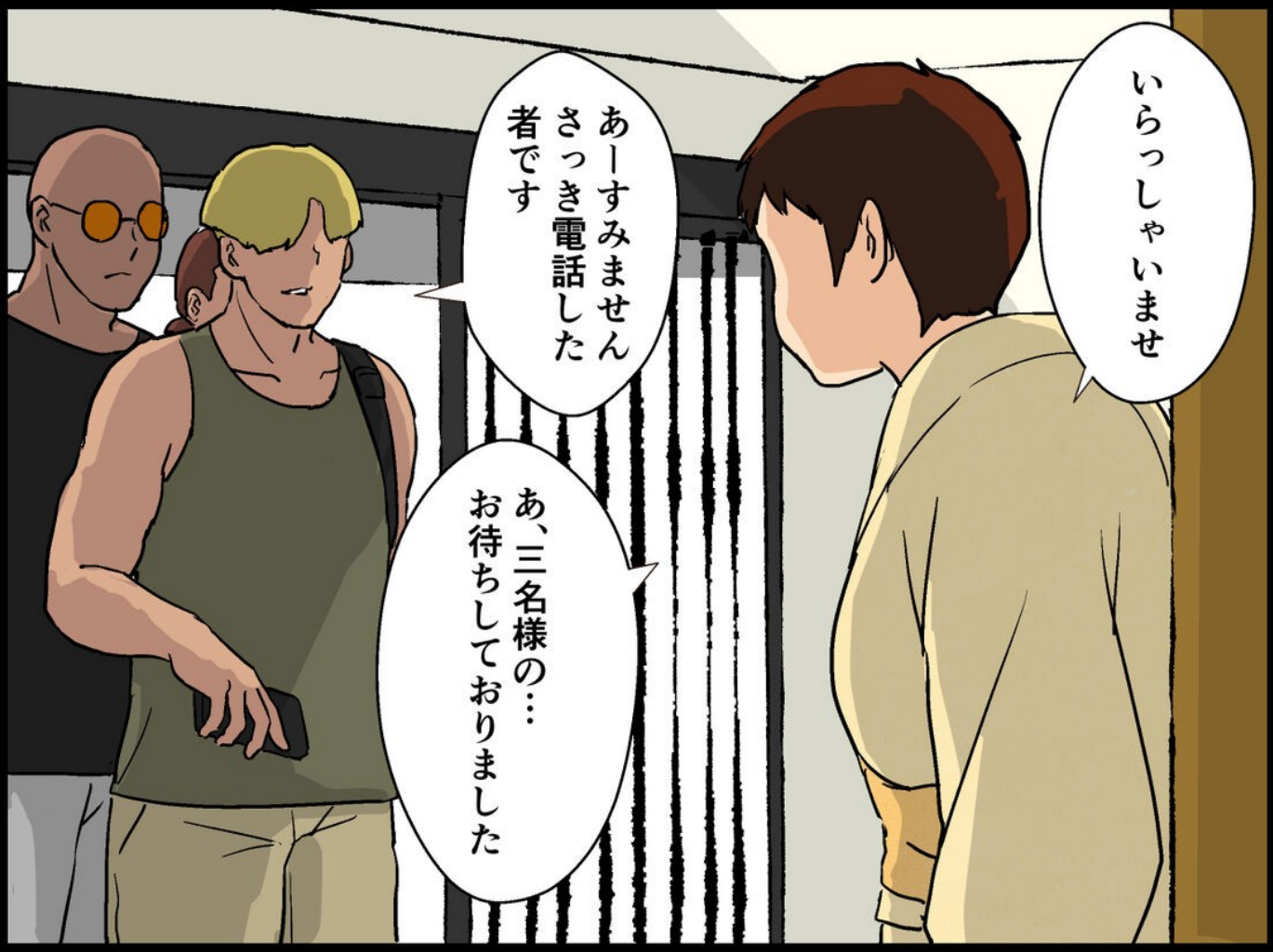

ワシにとって
この宿は
嵐の一夜を心安らかに
過ごせる場所なんじゃ
私は…奥様に
似ていましたか？
そうじゃのう…
ちっとも似てないのう


女将よ
また元気になって
！
この宿を
続けて欲しい


ああ
そうじゃ
先代女将も
おまえさんに似て
さぞや器量好し
だったのだろう
ジャリ
ジャリ
ジャリ
ブロロロ…
……
五十嵐
石田さんが
いらっしゃるように
なって半年
お客さんも増えたけど
こんどはアンタたちの
夫婦仲が心配だよ
先代の話題
出たんだね
屋号騒動とか
懐かしいねえ


ザアアーーー


ザアアーーー

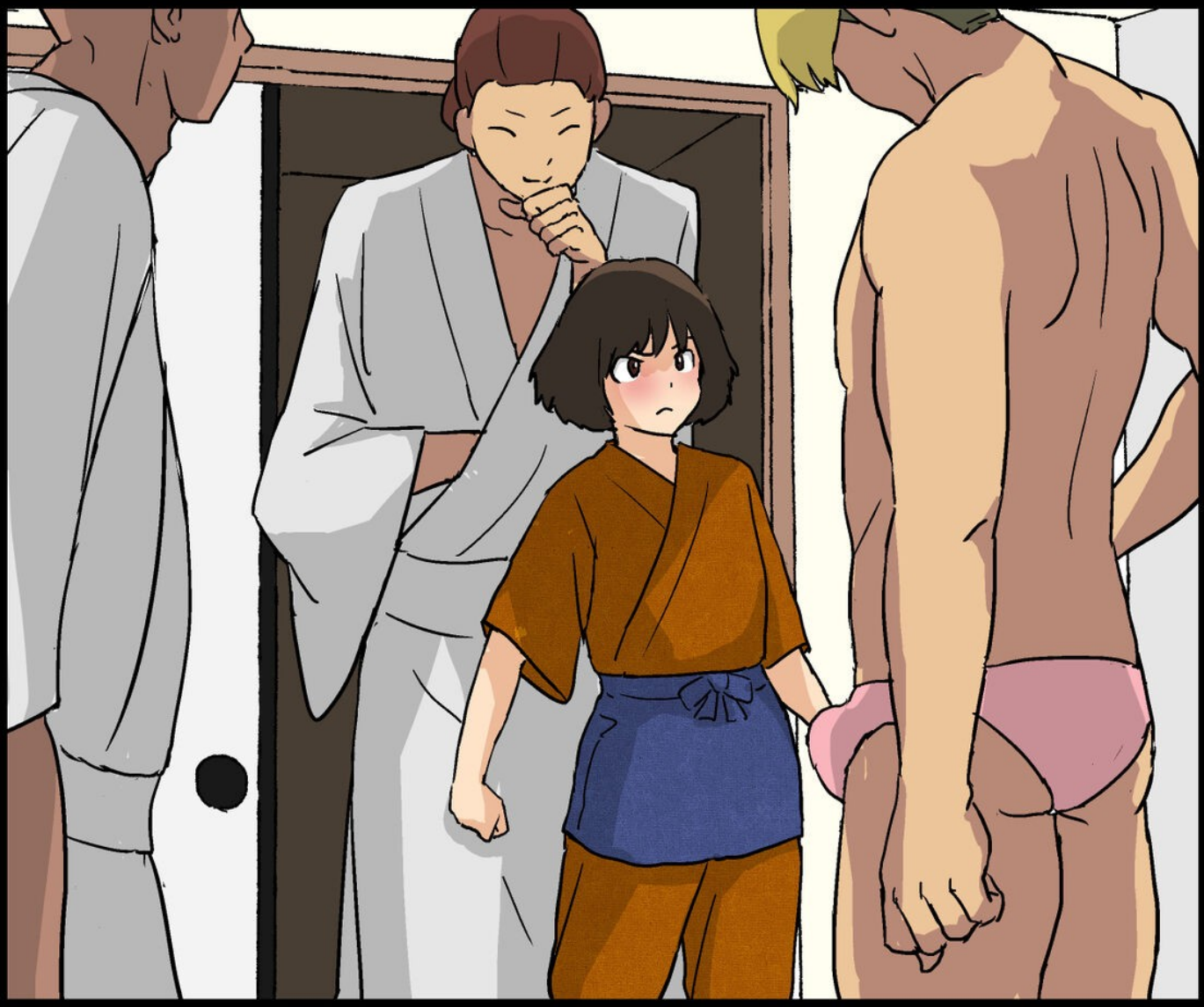

いらっしゃいませ
あーすみません
さっき電話した
者です
あ、三名様の…
お待ちしておりました


急な雨の中
大変でしたね
予定が全部
狂っちゃって
風呂すぐ
使えますか


こちらです

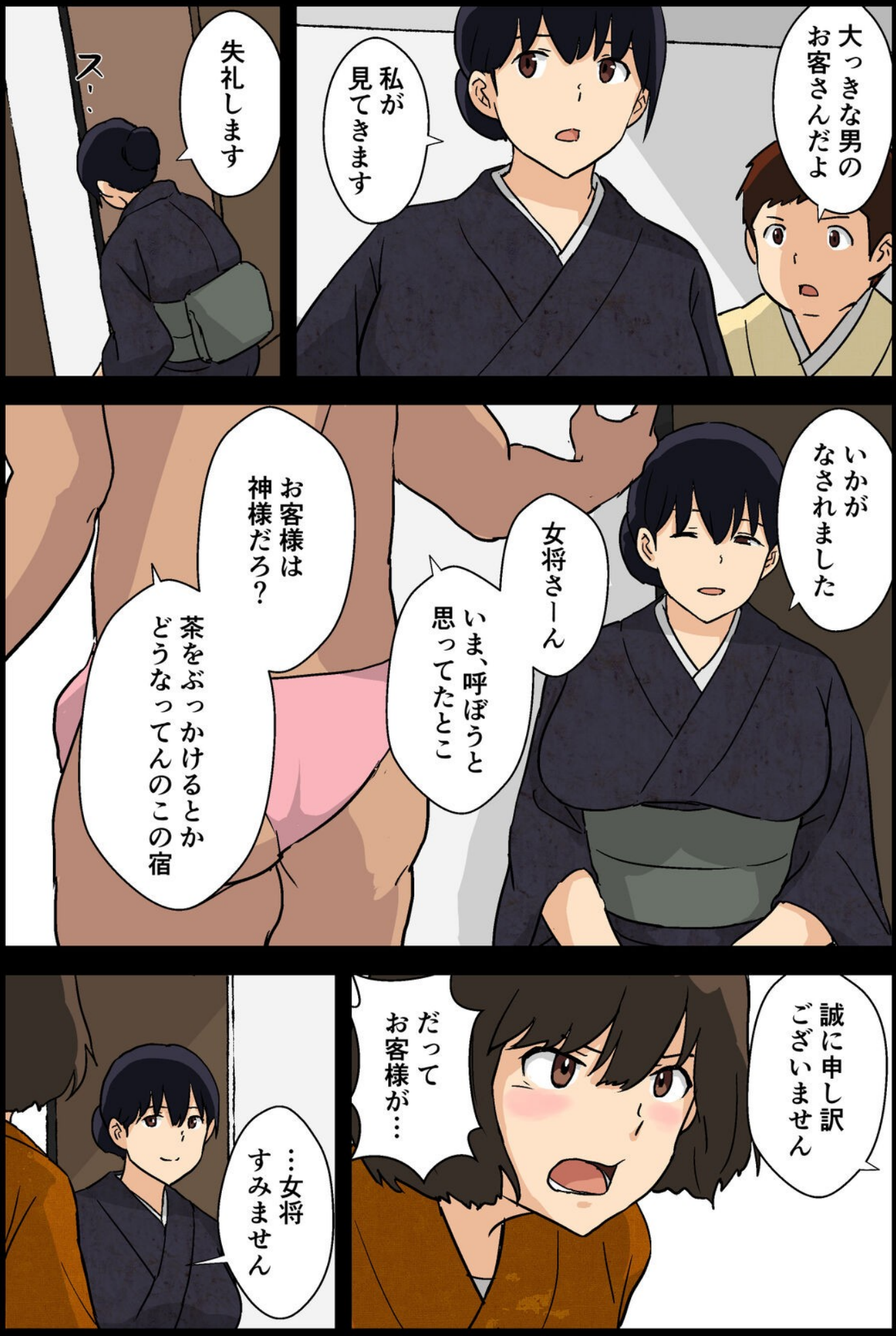

女将さんて
どの人？


あ、佐久さん
宮田さん
見ませんでした？
ユキちゃん？
客室だと思う
あ、そうなの
この降り…
雨漏りしないか
心配だわ
建物
古いからね…
きゃあっ
やめてくださいっ

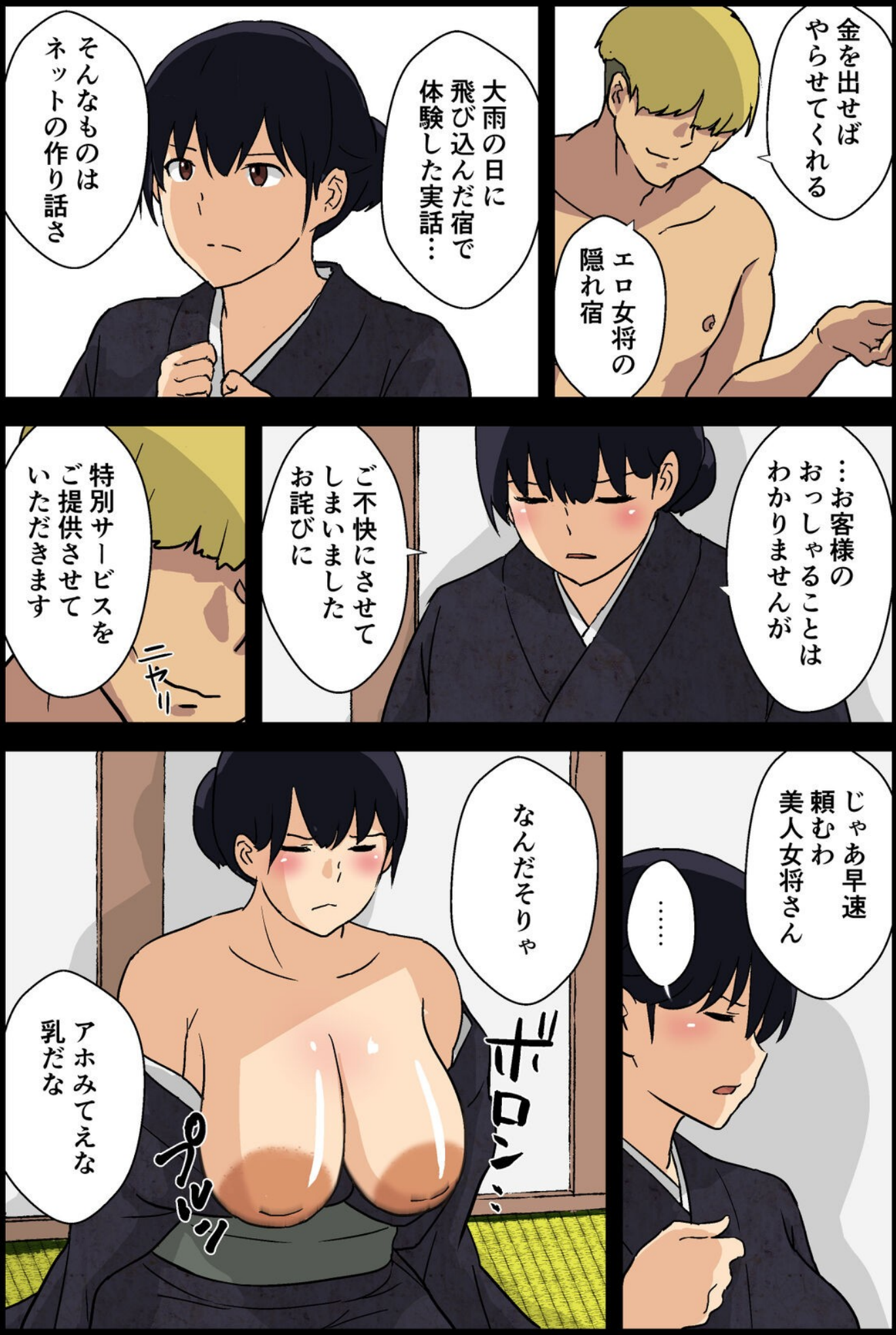



もう一度言うぞ
チンコしゃぶれ
そんなこと
するわけ
ないでしょ

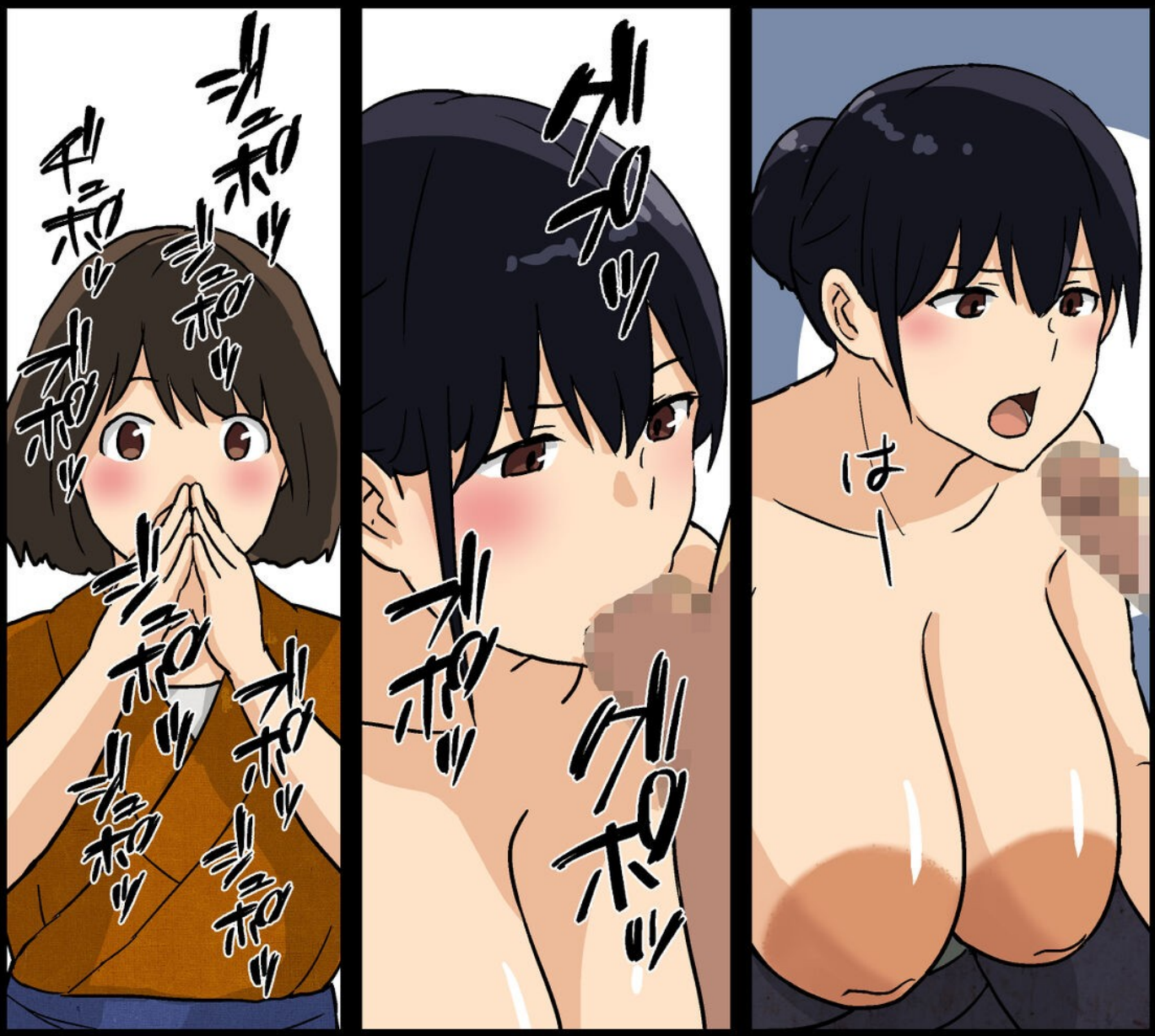

この宿
マッサージだけじゃ
ないんだろ？
なあ
わかってんだよ


大っきな男のお客さんだよ
私が見てきます
失礼します
ス…
いかがなされました
女将さーん
いま、呼ぼうと思ってたとこ
お客様は神様だろ？
茶をぶっかけるとかどうなってんのこの宿
誠に申し訳ございません
だってお客様が…
…女将すみません


じゃあさ
お互い様って
ことにしようぜ
この生意気な女に
俺らもぶっかけて
いいよな？
もちろん
茶じゃないぜ
ギャー
申し訳
ございませんが
お断りいたします
あれぇ
自分の立場
わかってる？
あんた
美人だな
俺らは
オバサンでも
全然いいんだぜ？
ぐいっ


金を出せば
やらせてくれる
エロ女将の
隠れ宿
大雨の日に
飛び込んだ宿で
体験した実話…
そんなものは
ネットの作り話さ
…お客様の
おっしゃることは
わかりませんが
ご不快にさせて
しまいました
お詫びに
特別サービスを
ご提供させて
いただきます
ニヤリ
じゃあ早速
頼むわ
美人女将さん
……
なんだそりゃ
ボロン
アホみてえな
乳だな
プルン


ようこそ
癒しの宿
五十嵐荘へ
マッサージで
お客様の溜まった
日々の疲れを…
なに気取ってんの
チンポしごいて
精液搾り取ります
って言えよ
……
女将さ～ん
…お客様の
おチンポしごいて
お射精させます
じゃあ
しゃぶって
いつも旦那に
してるように
丁寧にやってね


はーい
グポッ
グポッ
グポッ
ジュポッ
ジュポッ
ジュポッ
ジュポッ
ジュポッ
ジュポッ

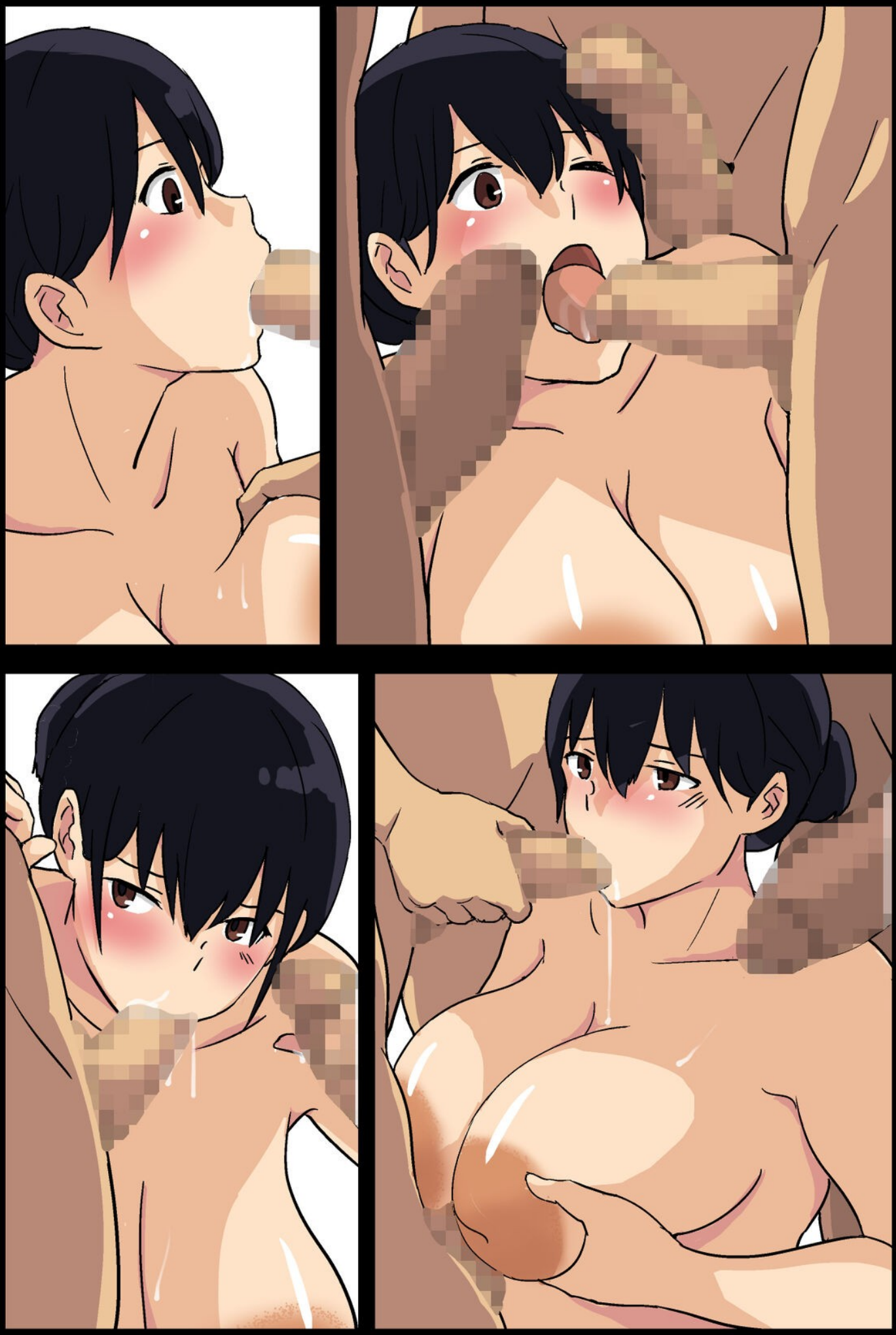

慣れたもんだな
女将さんよ
……
休んでないでタマも舐めろよ
……


こっちも
頼むぜ
舐めてくれよ
ほら
……
俺は抱いた
女には
全員にこう
させるんだが
はじめは
嫌がった女も
よろこんで
ケツ穴を舐める
ようになる
あんたはさすがに
物分かりがいいな


見ろよ
下半身もエロいぜ
宿アタリっすね
ぐりゅるる
下の毛外人みてえに薄いのな…
もうぐちょぐちょだぞ
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ


三人とも性欲強そうだし
全員の気が済むまで何回射精させれば…
休むことなくなんども挿入される…
……
こっちの三柱（かみさま）にも挨拶しな


こうなったのも私のせい
私がこんなことを始めたから…
全部私の責任…




お客様
ゴムっ…
もう遅いって


ほら
こっちも
ナマのが気持ち
いいでしょ






ジュポッ
ジュポッ
ジュポッ

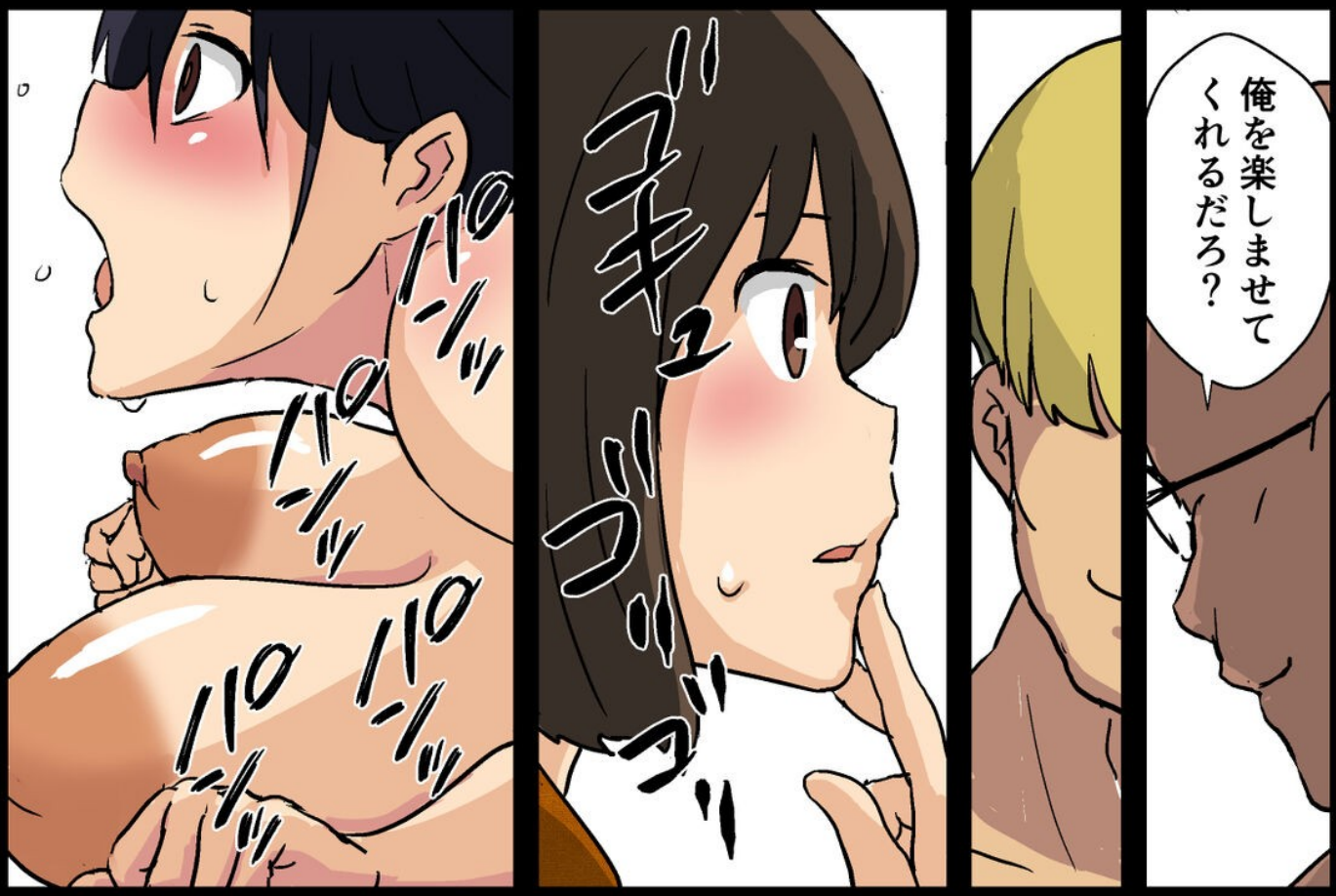

女将さん
跡継ぎって
いるの？
…いいえ

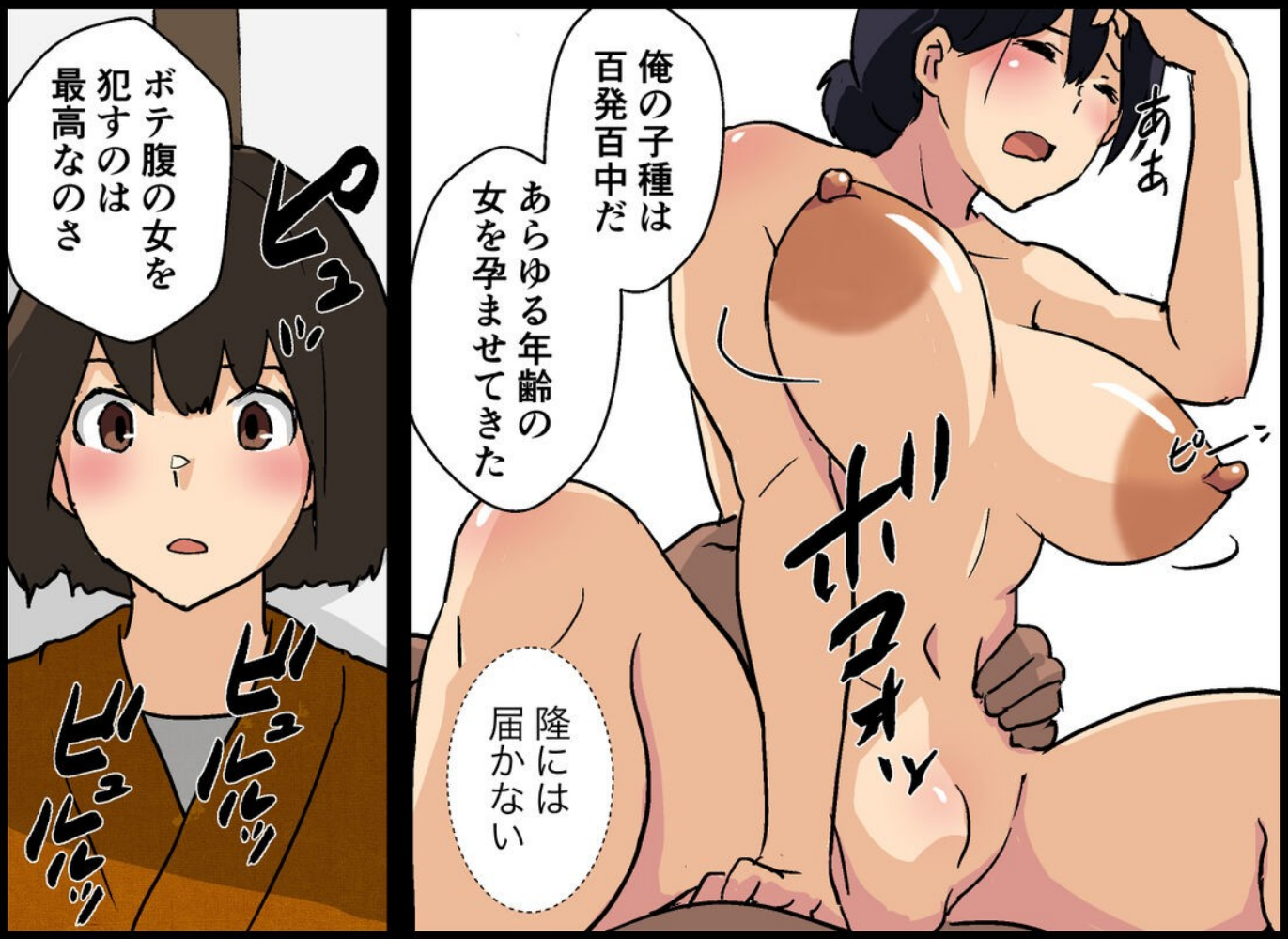

じゃあこれ
将来の若女将の
素ね
ビュルッ
ハーハー
ドク
ドク






ようやく
俺の番だな
コイツのせいで
若い女はすぐ
使い物にならなく
なっちまう
待って
こんなの挿れたら
壊れる…
使い込まれた
人妻の膣なら


俺を楽しませて
くれるだろ？
ゴキュ
ゴゴ
ハハハ
ハハハ
ハハハ


あぁ
俺の子種は
百発百中だ
あらゆる年齢の
女を孕ませてきた
隆には
届かない
ボテ腹の女を
犯すのは
最高なのさ
ピュッ
ビュルルッ
ビュルルッ


一番奥で
射精されてる！
腹がデカく
なったら
予約取って
また来てやる
わかったか
女将
ビュルルッ
ビュクッ


はい
お待ちしております


えげつない量だな
どぷっ
ドロー
こんなこと…
なんでもないわ
女将さんダブルピース
その歳で赤ちゃんできてよかったね
宿のためですもの…
ブシャ
ギャハハハハ
じょろろろ


なんだ
その目は
笑顔は
どうした
女将さん
ニヤリ
あー
動かないで


ドクンッ
ドクンッ
ハァ
ハァ
!?
ドクンッ
ドクンッ
わ…
笑わなくちゃ…


わかったか
おまえは客のオナホ
客室のトイレだ
は…はい…私はオナホトイレです


あっまた…
プシャー


ああっ
…便器が漏らしてどうすんだよ
くちゅっ


ホラ、まだ残ってんぞ
トロ
ちゅぱ
唾飲め
……
俺も
クチュ
クチュ
ペッ

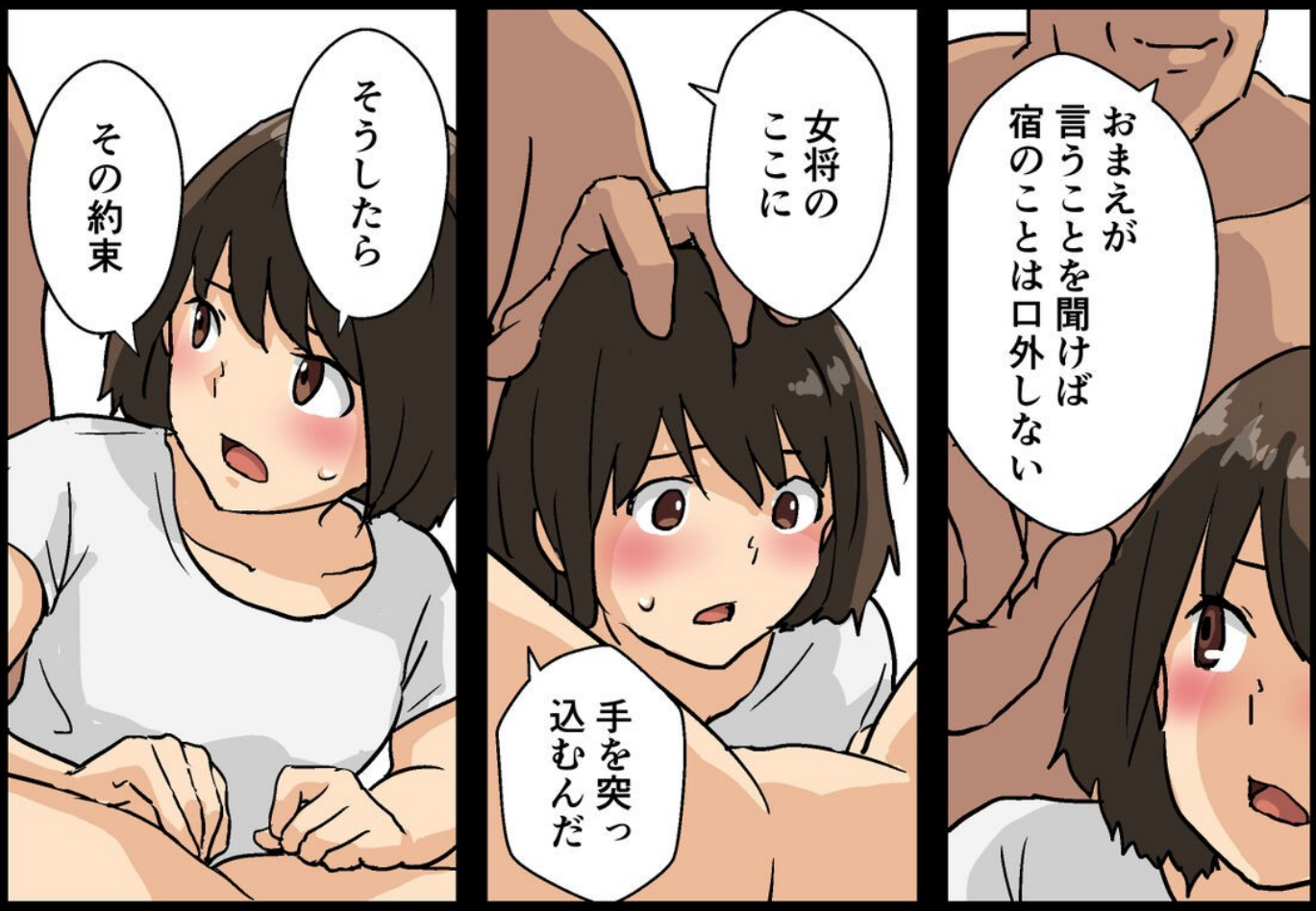

ハアハアハアハア
ハアハアハアハア
なに勝手に
休んでいるんだ
まだ
終わりじゃないぜ

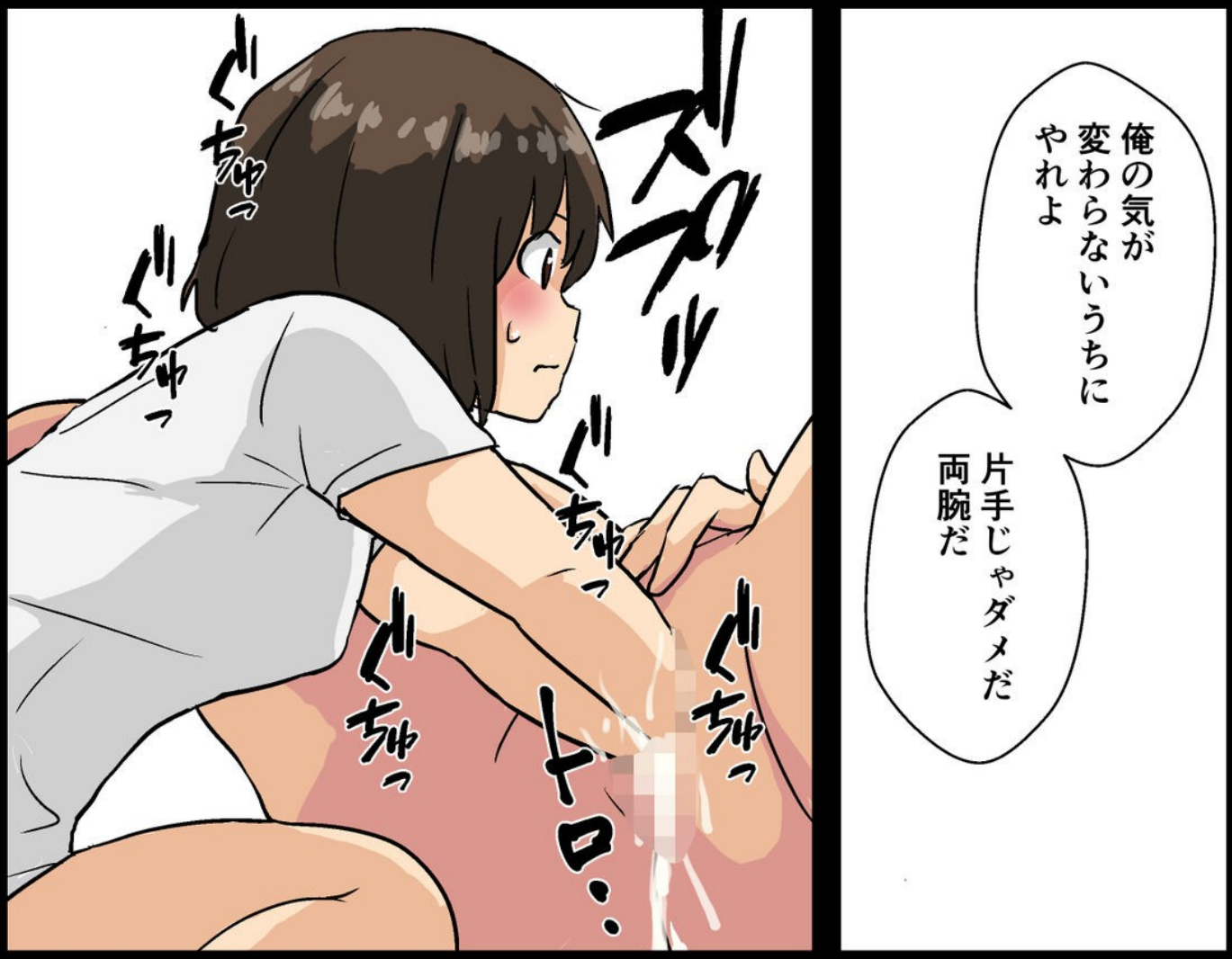

オナニー
しろ
はあ
はあ
客を
楽しませるのも
女将の仕事だろ


おいおい
自分だけ楽しん
でんじゃねえよ
客はほったら
かしか…？
お客様…
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ
お…女将の
イクところ


ど…どうぞ
ご鑑賞ください
ああイク…
イクイク…
イク…
イ…
ビクンッ
ぐちゅっ
くちゅっ
ぐちゅっ
ギャハハハ


なんだ
まだいたのか
チビ女
おい、まだ
金玉にザーメン
残ってるか？
コイツにも
お仕置き
しとこうぜ
や、やめ…
…女将と
比べたら
かわいそうか
女将の仕事は
大変だよなぁ
ほら、もっと
顔を近づけて
よく見な
……


おまえが
言うことを聞けば
宿のことは口外しない
女将の
ここに
手を突っ
込むんだ
そうしたら
その約束


俺の気が
変わらないうちに
やれよ
片手じゃダメだ
両腕だ
ズボッ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
トロ…

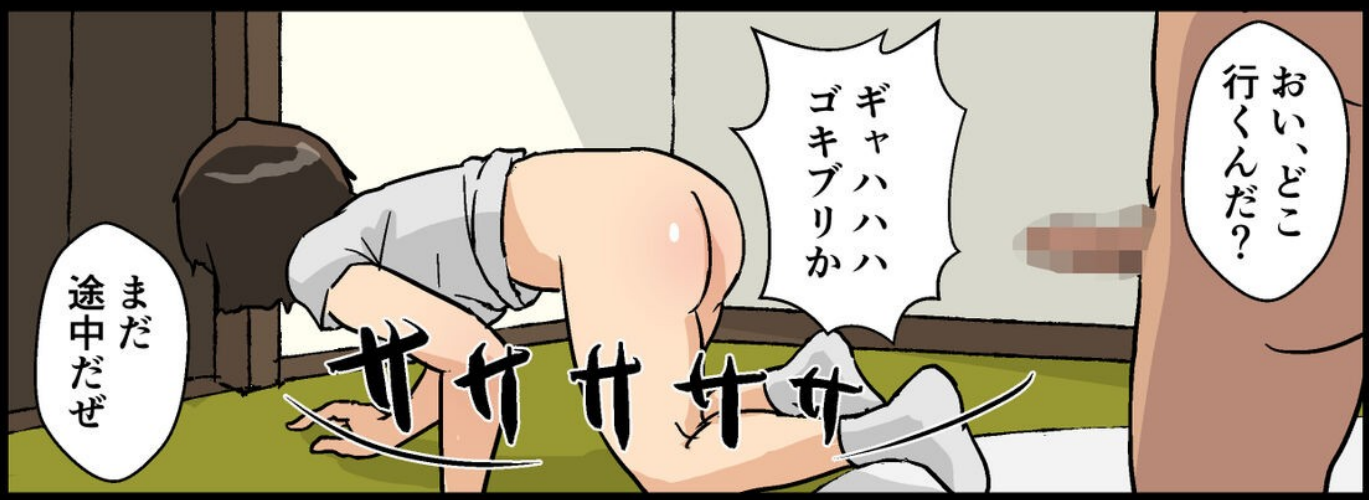

女将はしばらく
使い物に
ならねえから
おまえが
相手しろ
やめてよ
意外と
あるじゃねえか
宿を
つぶしたい
のか？
女将の苦労を
無駄にするな
オマエも
やりてぇんだろ？
こんなの見せられちゃ
普通の女なら
我慢できねえからな
…しっかり
濡らしてる
じゃねえか
グチュッ


ね、ねえ
ちょっと…
やめてよ
初めてってワケ
じゃねえんだろ
…もしかして
そうなのかぁ？
お願い
やめて…


痛っ…
こいつは
ツいてるな
それを聞いたら
また勃ってきたぜ
ズブッ


おお、キッツ
女将とまた違った味が
グチュッ
グチュッ
サービスのいい宿だな
あ～
たまんね
タプ
タプ
タプ
タプ
くちゅっ
くちゅっ
あ～
あ～
女将気に入ったのか？
頑丈なのがいい
パン
パン
パン

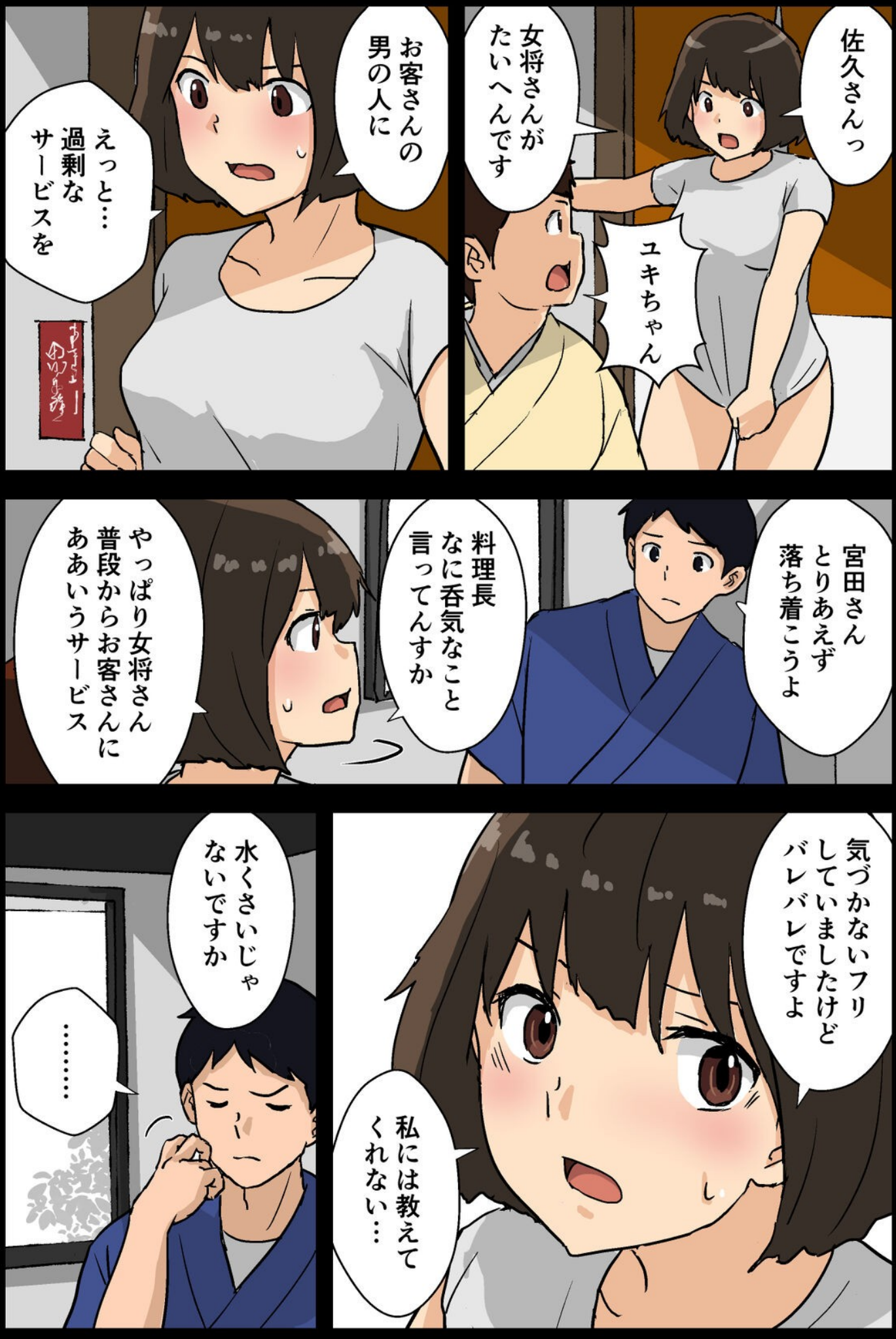

女将さん、まだ生きてました？
ユキちゃんここは私にまかせて…
あなたは下がりなさい
はーい
ハンッ
ハンッ
ハンッ
ハンッ


おい、どこ行くんだ？
ギャハハハゴキブリか
まだ途中だぜ
サササササ


あの子の分も
私がお相手
いたしますわ
そうか
わかったぜ
女将さん
二倍
尻振って
もらおうか


調理室
隆クン、
女将が心配
なんだろ？
さっきからなにも
手につかないじゃ
ないか

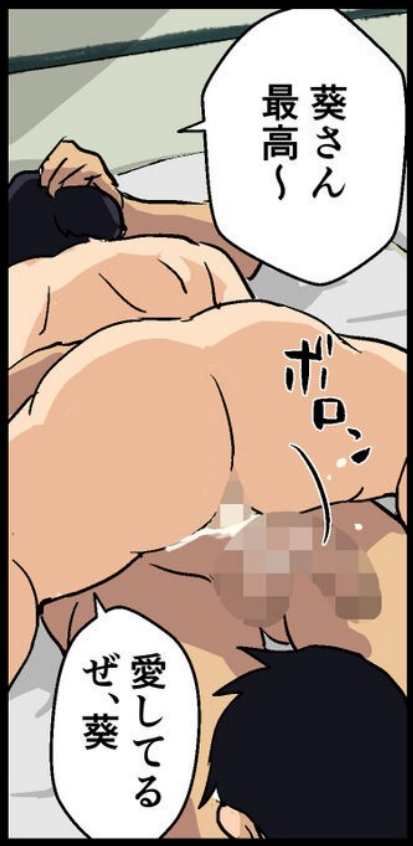

彼女に
全部任せて
いるので
隆クンの
女将への信頼は
わかるけど…


佐久さんっ
女将さんがたいへんです
ユキちゃん
お客さんの男の人に
えっと…過剰なサービスを
宮田さんとりあえず落ち着こうよ
料理長なに呑気なこと言ってんすか
やっぱり女将さん普段からお客さんにああいうサービス
気づかないフリしていましたけどバレバレですよ
私には教えてくれない…
水くさいじゃないですか
……


私が行こうか？
アンタが行っても
余計ややこしく…
大丈夫です
佐久さん
僕も大人
ですから
…大丈夫
でしょうか
料理長…
強そうな人
ばかり
でしたけど
ユキちゃん
あんたは
ケガとか…
ケロッ
私は
平気です
…だけど
心配です
料理長が
ケガしたら…
これはこれは
旦那さん
……
本日は
お越しいただき
誠に…


ちょうど今
アンタの嫁の中に
射精するトコ
受精の瞬間
見てってよ
……
あ、射精(で)る〜
ビュルルッ
ドクッ


中で出てるの
わかるっしょ
女将の名前
葵さんて
いうんだよね
ドク
ドク
ドク

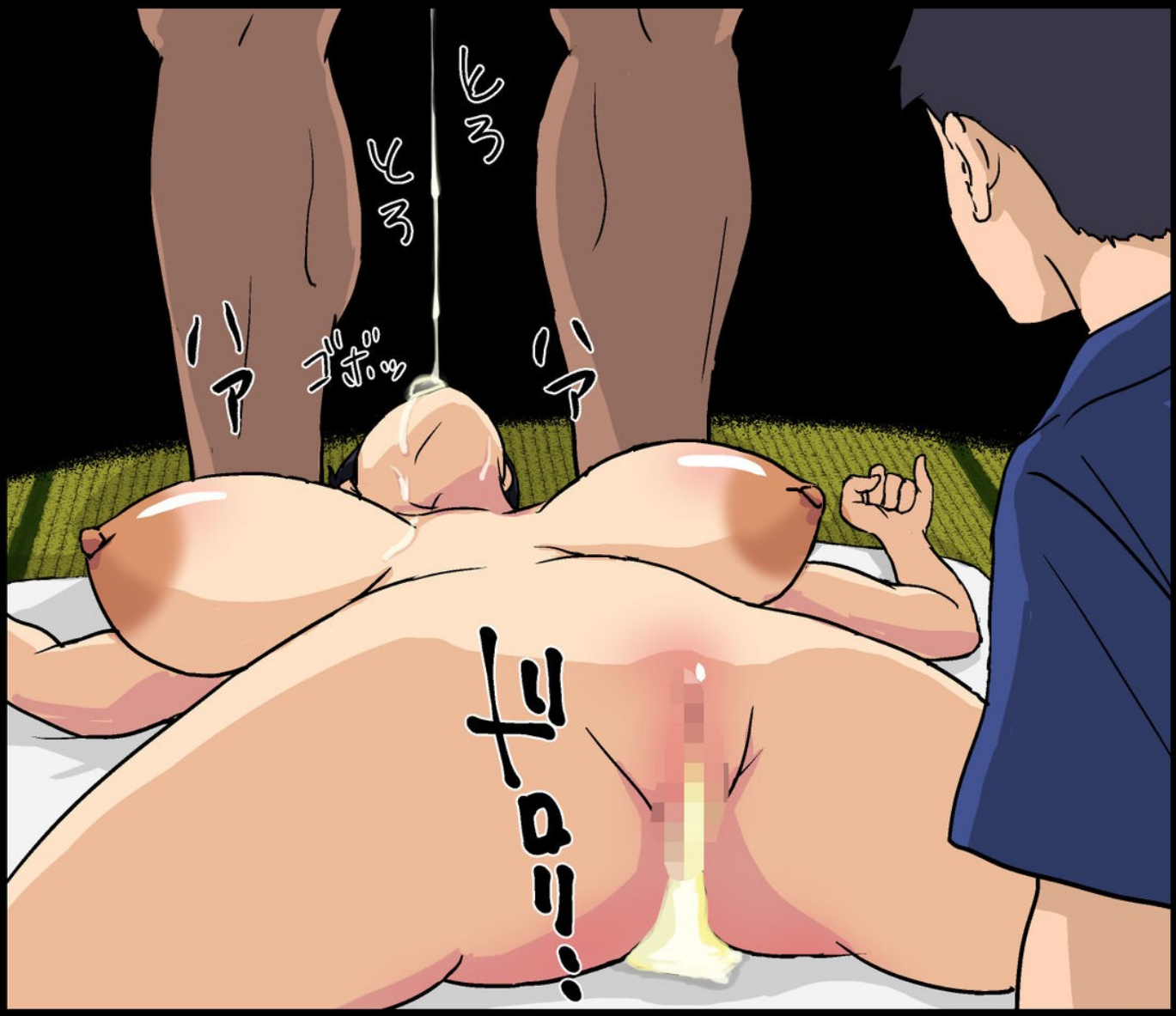

葵さん
最高〜
ボロン
愛してる
ぜ、葵


拡げないで
ダメ…
体張って女将の仕事は大変だよなあ
見えちゃう
亭主に見てもらえ
自分からお願いしろ


あなた見て…
私…お客様の立派なモノを挿れてるの…
ああ
…やっぱり見ないで！
くちゅっ


筋トレにもってこいだ
ついでにスッキリできる
ヒャー
ジュル
ギュポッ
ギュポッ
ギュポッ


そんなに持ち上げたら
天井にケツがつくぜ
ワハハ
ゴポッ


とろ
とろ
ハア
ゴボッ
ハア
ヒクヒク




次は
三穴同時責めだ
ペロ


見てるだけじゃ
退屈だよな？
嫁の穴は全部
埋まっちまうが
手なら
空いてるぜ


ほ～ら
ご亭主
こっち来て
チンポしごいて
もらえ
遠慮すんな
テメーの嫁だろ





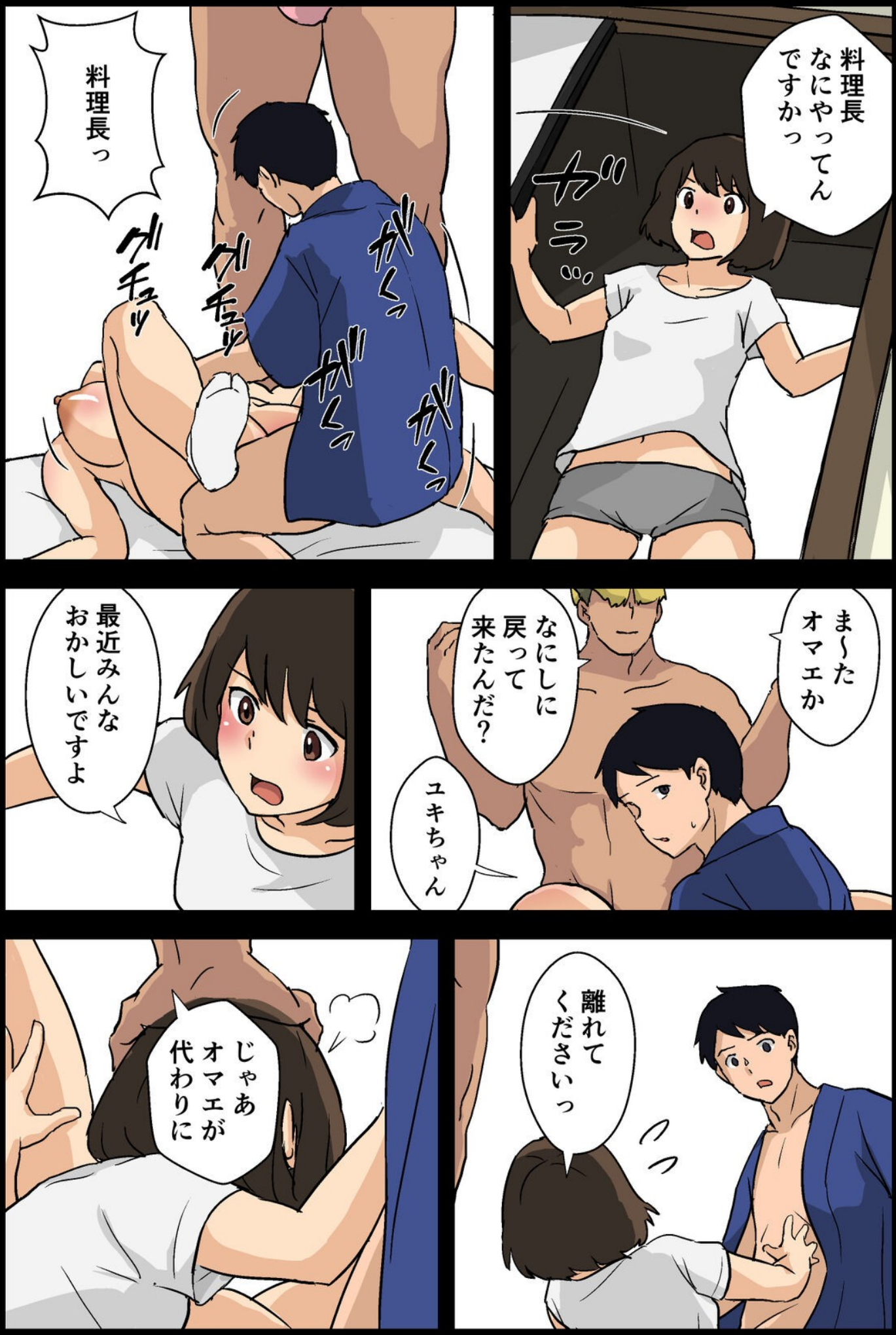


俺は…
彼女の敷いた
レールの上を
走っているだけなのか？






好きな穴でイっていいぜ
どの穴も汚れてるけどな
…やっぱり嫁は中がいいか
他人の精液を溜めたマンコで
旦那を受け入れて感じてやがる
石田さん…
あ〜
ああ…隆…
ダメ…


料理長
なにやってんですかっ
ガラッ
料理長っ
ガクっ
ガクっ
ガクっ
グチュッ
グチュッ
ま～たオマエか
なにしに戻って来たんだ？
ユキちゃん
最近みんなおかしいですよ
離れてくださいっ
じゃあオマエが代わりに


そいつのを口で受けな
ぴくっ
ホラ出るぞ
ピュッピュッ
あっ
ぴくっ
！
ユキちゃん…
ドクッドクッドクッドクッ
……


あーあ
嫁の目の前で
飲んだ？
マジ？
私、好き
なんです
え…？
この場所が
好きなんです

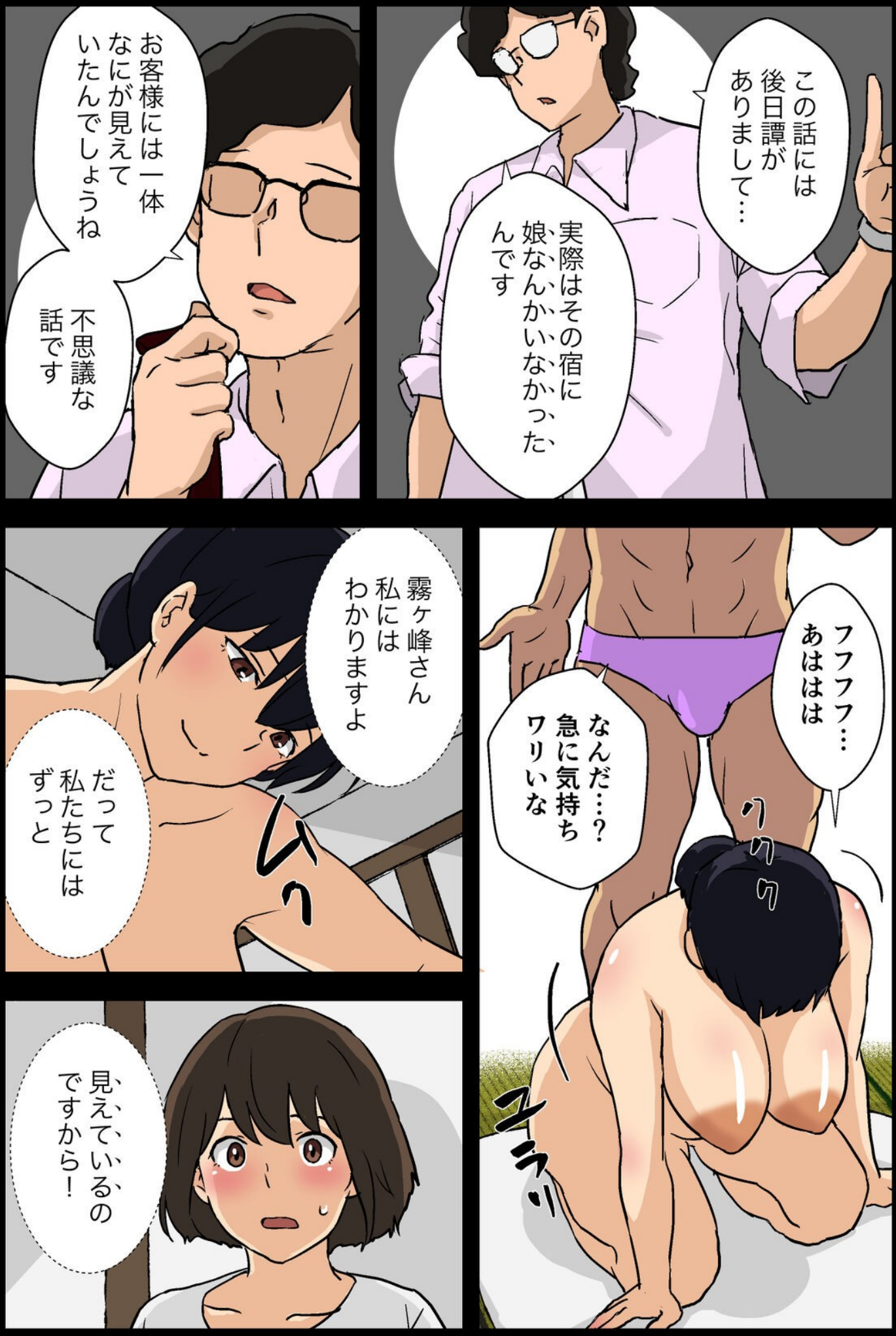

だから
女将さんが好き
料理長のことも
好き…
佐久さんも
みんな好き
この宿が大好き
私の見つけた
居場所だから…

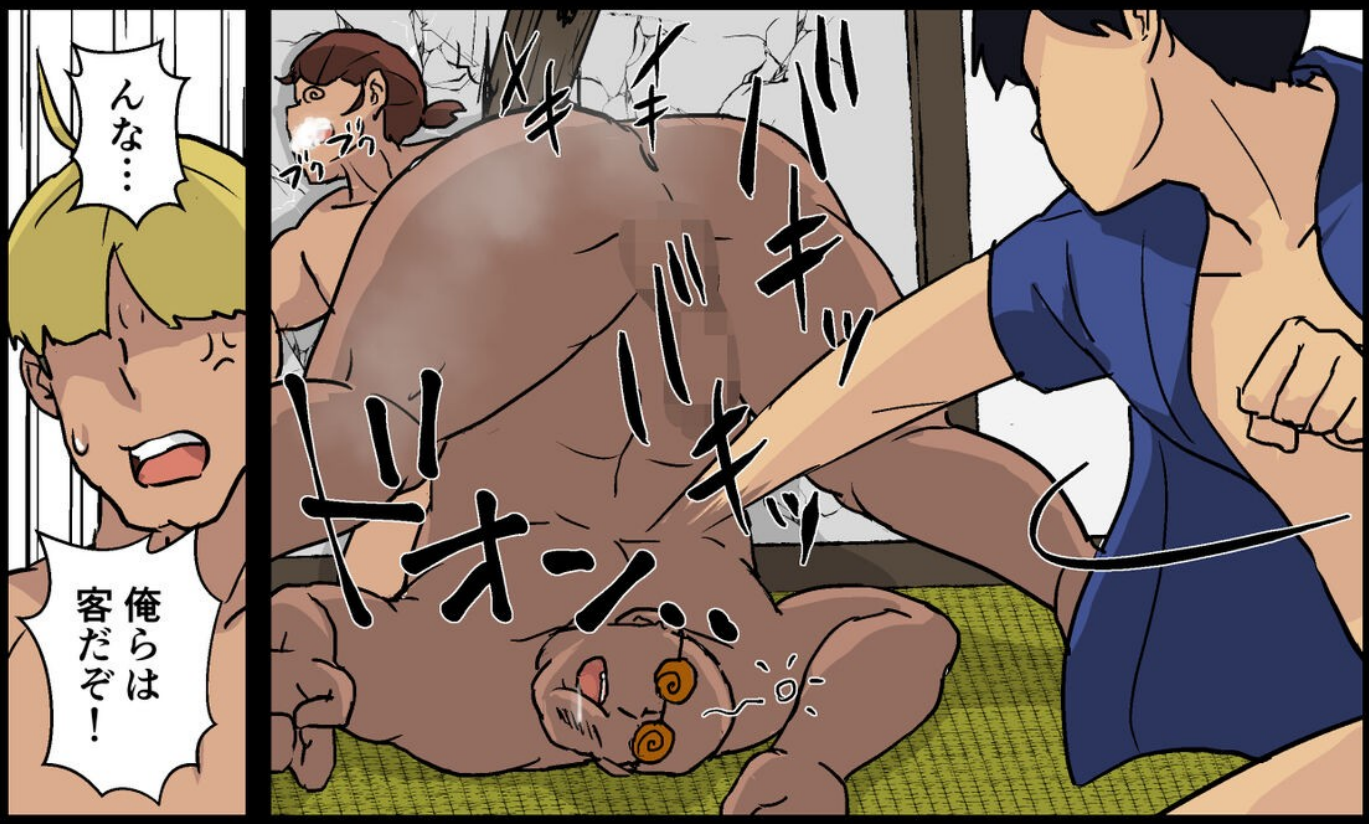
座敷わらしという
神様を知ってるかい？
…女将は「精霊」と
呼んでいるけどね

座敷わらしは富をもたらす
座敷わらしのいる宿は
お客サマが絶えないのさ

葵ちゃんが困ったとき
座敷わらしは
アンタのまえに
姿を現すかもしれないよ




この話には後日譚がありまして…
実際はその宿に娘なんかいなかったんです
お客様には一体なにが見えていたんでしょうね
不思議な話です
フフフ…あはははは
なんだ…？急に気持ちワリいな
霧ヶ峰さん私にはわかりますよ
だって私たちにはずっと
見えているのですから！

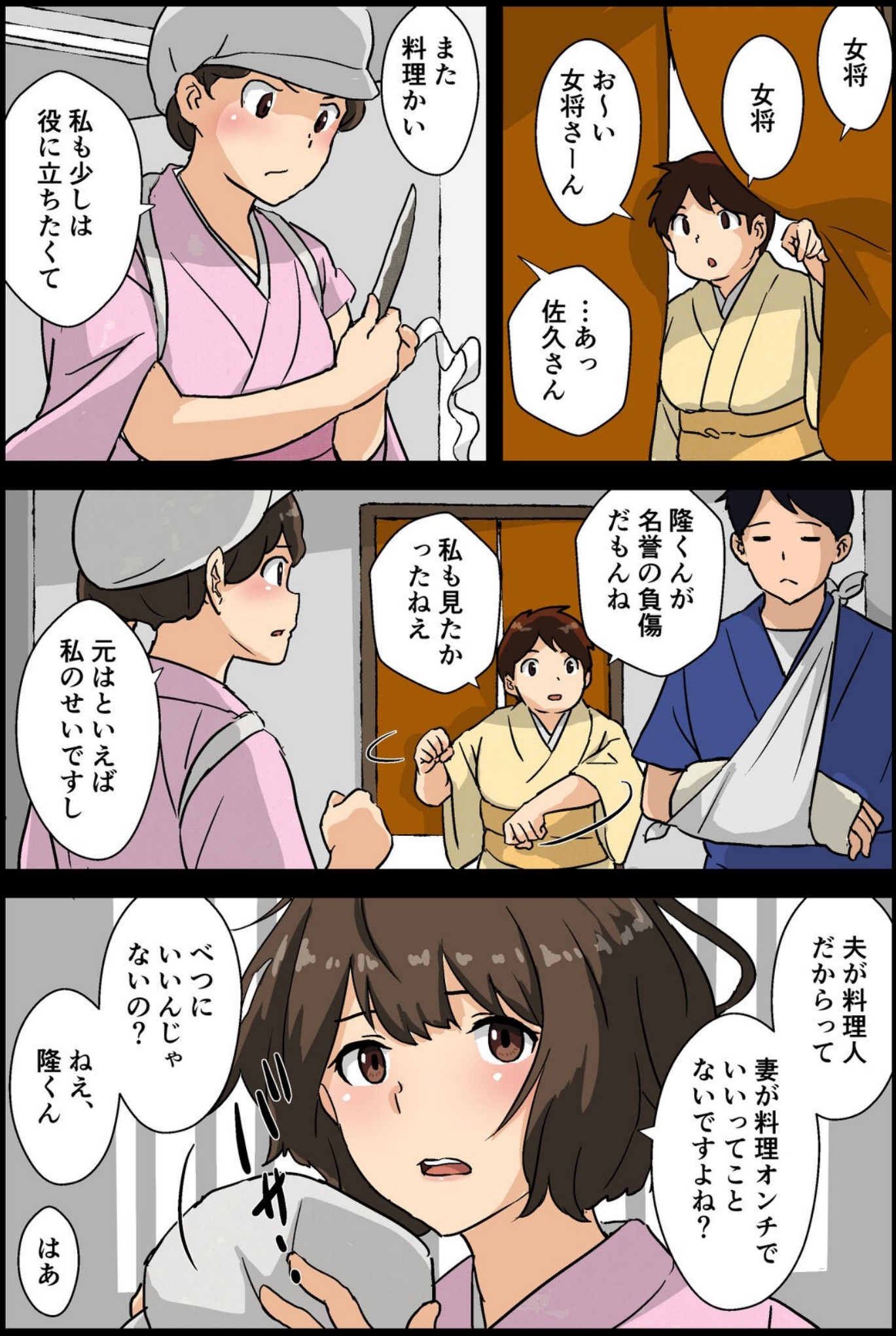

んな…
俺らは客だぞ！
メキ
イキ
バキッ
バキッ
ヤオン…


あんじぃ


神様はお客様じゃないんですよ


お客様、申し訳ございません
うごくな
創業以来この宿では…
パサ

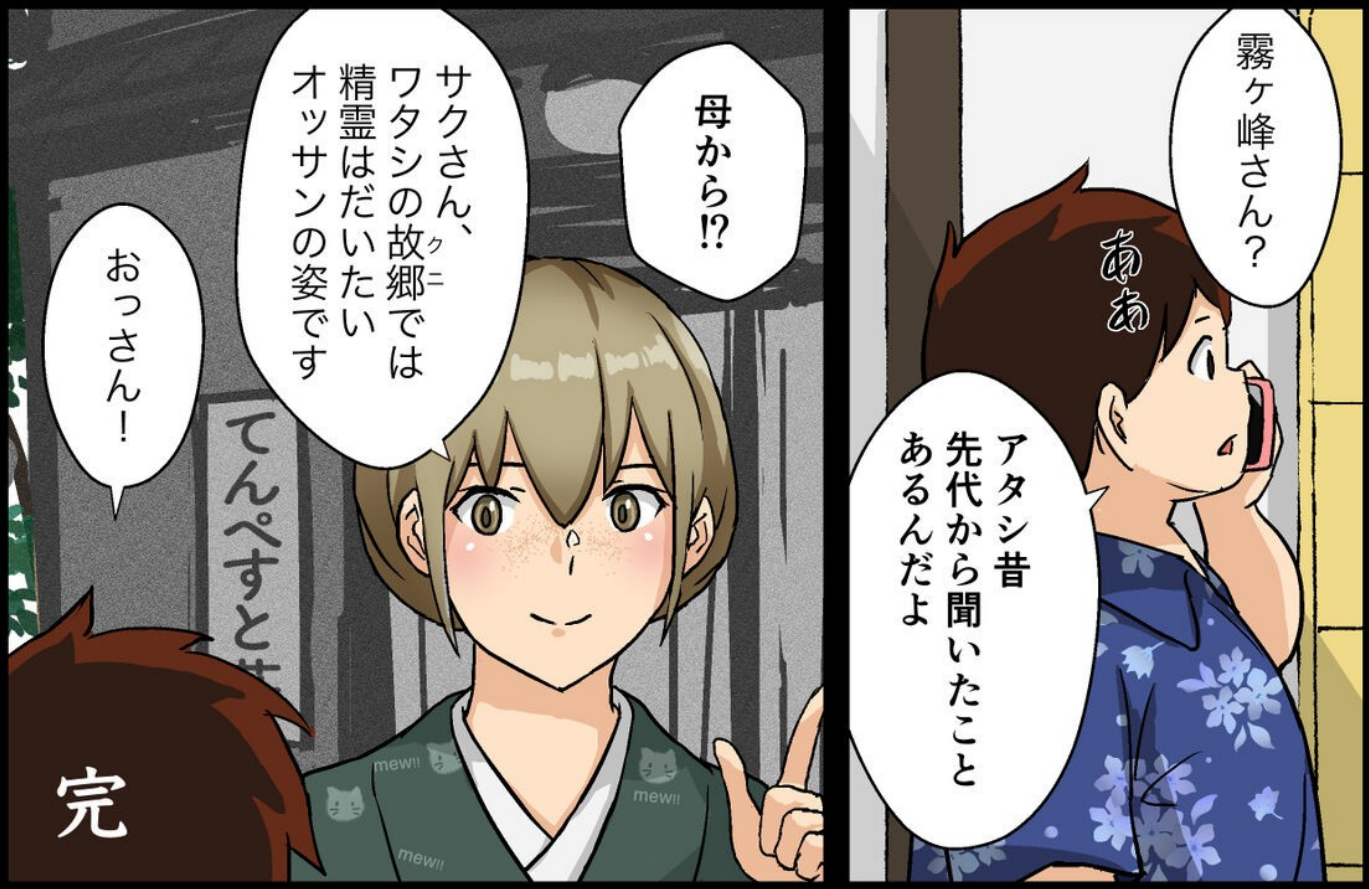

隆や佐久さん
ばかりでなく
ユキちゃん、
あなたにまで心配
かけてしまって…
ごめんなさいね


女将
女将
お～い
女将さーん
…あっ
佐久さん
また
料理かい
私も少しは
役に立ちたくて
隆くんが
名誉の負傷
だもんね
私も見たか
ったねえ
元はといえば
私のせいですし
夫が料理人
だからって
妻が料理オンチで
いいってこと
ないですよね？
べつに
いいんじゃ
ないの？
ねえ、
隆くん
はあ


隆くんが治るまで料理は全て
霧ヶ峰さんが手配してくれるから心配ないよ
女将にあそこまで入れ込むなんて…
あの有名旅館の臨時女将に抜擢とは驚いた
心中穏やかじゃない？
温め直しはどうしても味が…
…助かりますけど
まあ
僕はずっと夫というより弟みたいなもので
今まで彼女には頼りっぱなしで…
いいんですよ私を頼ってくれて
アンタは隆くんの妻じゃないでしょ
女将が帰って来るまでがんばってよ
ユキちゃんはホテルニューイガラシの看板女将なんだから
…なんで名前変えたんですか
昭和？


佐久さん
私、知ってるの
ユキちゃんが
座敷わらし
なんでしょう？
座敷わらし…？
どういうことだい
私が小さい頃
佐久さんが
話してくれた
じゃない
困ったときに
姿を現して
助けてくれる…
そのお話は
困ったときには
一人で抱え込まず
誰かを頼れ
という謂だよ
えっ
そうなの？


じゃあ、私の考えた猫耳座敷わらしの耳かきサービスは？
えー
当然却下
また変な客ばかりになっちまうじゃないか
えー、絶対ユキちゃん似合うのに
いいかい女将
ユキちゃんは座敷わらしじゃないよ……
霧ヶ峰さんだ


霧ヶ峰さん？
あぁ
アタシ昔先代から聞いたことあるんだよ
母から!?
サクさん、ワタシの故郷（クニ）では精霊はだいたいオッサンの姿です
おっさん！
てんぺすと
mew!!
mew!!
mew!!
完

この作品はフィクションです。
登場する人物・団体・名称等は
架空であり、実在のものとは
一切関係ありません。




サクさん、
私ハコノ宿ノ
オカミデス
オカミハ
オ神…
スナワチ
私ガ
コノ宿ノ
神サマデス
…まあ、
女将の好きに
したらいいよ


…ミルクこぼした
ご宿泊ありがとうございました。